

# 地方史情報 160

2023年3月

## 地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫 編

\*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

北海道	1	新潟県	35	島根県	55
青森県	3	富山県	36	岡山県	56
宮城県	4	長野県	37	広島県	57
秋田県	5	静岡県	41	徳島県	58
福島県	6	愛知県	42	愛媛県	58
茨城県	7	滋賀県	43	佐賀県	60
栃木県	9	京都府	45	宮崎県	60
群馬県	9	大阪府	47	鹿児島県	61
千葉県	11	兵庫県	51	沖縄県	62
東京都	14	奈良県	53	寄贈図書	63
神奈川県	27	和歌山県	54		

### 北海道

#### ◆文化情報 北海道文化財保護協会

〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目 かでる2・7ビル9階

Tel.011-271-4220 <http://hokkaido-bunkazai.jp>

#### ◇392 2023.1 A4 8p

正月行事「門祓い」 松前町南部(2016年1月1日)

舟山 直治

第58回北海道文化財保護功労賞 受賞契機に活躍を期待

苦難を乗り越え伝統文化を地域の絆へ

幌内神楽保存会

縄文をまちの財産に

噴火湾考古学研究会

文化財の保護活動は地域の文化的レベルを表します

田村 邦雄

“道外文化めぐり” 徳島・吉野川流域の文化財

遠藤紘之助

東京国際映画祭特別功労賞 野上照代(95)さんの受賞喜ぶ

舟山 廣治

第2回文化財講演会 さっぽろの文化財の百年

文化財の所管と活用の変遷	山川 伸也
まちのイチオシ 殖民地区の基線道路 中標町白樺並木道の取組	飯島 実
北海道庁旧本庁舎(赤れんが庁舎)改修事業	
赤れんが庁舎修理工事の概要	松原 昭仁
博物館ひろば アーカイブ化で充実 稚内市樺太記念館	斉藤 譲一
国宝 重要文化財の指定・登録有形文化財の答申 国宝 北海道白滝	
遺跡群出土品(遠軽町)、重文 北海道常呂川河口遺跡墓坑出土品	
(北見市)、登録 銀鱗荘旧本館・グリル銀鱗荘(小樽市)	

◆北方民族博物館だより 北海道立北方民族博物館

〒093-0042網走市潮見309-1 TEL0152-45-3888 1991年創刊

<https://hoppohm.org>

◇126 2022.9 A4 6p

第37回特別展 イヌイトの壁掛けと先住民アート 笹倉いる美

講座／講習会 カザフの手工芸／カザフの刺繍 講師：原田千恵子 笹倉いる美

講座 ラポロアイヌネイションのこれまでとこれから

講師：差間正樹・長根弘喜・持田誠 野口 泰弥

ロビー展 写真で振り返る日本のアラスカ調査2

主催：北海道立北方民族博物館 共催：北極域研究加速プロジェクト

クト(ArCSⅡ)社会文化課題 野口 泰弥

講座 北西海岸文化の起源と現在 講師：岡田淳子 野口 泰弥

講座 日本人研究者のアラスカ先史時代研究：その展開とダイナミズム

講師：平澤悠 野口 泰弥

◇127 2022.12 A4 8p

第36回北方民族文化シンポジウム 網走 北方諸民族文化とジェンダ

ー 第1部 ジェンダー研究の歴史と展開 「フェミニズム、ジェ

ンダー研究とインターセクショナリティ：「女性」概念をめぐる」

(宇田川妙子)、「北米先住民研究におけるジェンダーとセクシュア

リティ」(佐藤円)／第2部 北アメリカの事例 「カナダの先住民

民族女性たちの現在」(矢内琴江氏)、「生きる技術としての「メディ

シン」：ユーコン先住民の超自然的に実践におけるジェンダー」(山

口未花子氏)／第3部 アイヌの事例 「アイヌのジェンダーを再考

する」(北原モコトウナシ氏)、「アイヌ・アートの現在：創造と

享受をジェンダーの視点から考える」(池田忍氏)／第4部 シベリ

アの事例 「カモフラージュの色はいくつ?：ロシアの資源豊富な

開発地域における男性観と超男性性の木範と思想」(ヨアヒムオツ

- トーハベック氏)、「歪んだ鏡のなかで：シベリア先住民における非異性愛規範的なジェンダーとセクシュアリティの形態の民族誌的表象」(ステファンデュデック氏) 中田 篤
- 講座 古代岩画に魅せられた人々：アムール川流域・ナナイの暮らしと文化 講師：井手晃憲氏 山田 祥子
- 講演会 美術史からみた先住民アート 講師：大下裕司氏 笹倉いる美
- 講座 湧別町シブノツナイ堅穴住居群の調査について 講師：林勇介氏 種石 悠
- 講座 奥尻島のオホーツク文化 講師：種石悠 種石 悠
- ロビー展 西田香代アイヌ刺繍展／講習会 アイヌ刺繍講習会 笹倉いる美

## 青 森 県

- ◆**八戸地域史** 八戸歴史研究会（発行：伊吉書院）  
 〒039-1164八戸市下長2-7-19 三浦忠司方 TEL0178-38-7376 1982年創刊
- ◇59 2022.12 A5 50p 800円
- 口絵 明治初期の八戸市街地と小見世・石置き屋根  
 八戸地方における太陽暦の受容 斎藤 潔  
 八戸藩、欠落農民の就労状況について 松ヶ崎憲治  
 参勤交代途中の八戸藩主への対応記録  
 一資料紹介「盛岡花巻鬼柳三ヶ所ニ而勤方拔書」 中野渡一耕  
 史料紹介 陸奥国郡村仮名附帳の史料紹介と解説 三浦 忠司  
 みじか史 八戸町の小見世と石置き屋根 三浦 忠司  
 書評 滝尻善英著『奥州南部観音霊場巡り 糠部三十三札所』 小池祐賀子
- ◆**弘前大学国史研究** 弘前大学国史研究会  
 〒036-8560弘前市文京町1 弘前大学人文学部日本史研究室内 1956年創刊
- ◇153 2022.12 B5 87p  
 大名が一番大事にした文書―盛岡南部家宛徳川將軍家領知宛行状考(上) 千葉 一大  
 北奥外様小藩八戸藩における鷹狩りについて 中野渡一耕  
 弘前城下近郷の豪農石戸谷家について―附 旧石戸谷家文書目録 福井敏隆／小石川透  
 書 評  
 浪川健治編『十八世紀から十九世紀へ―流動化する地域と構造化する世界認識』 木村 直也

萱場真仁著『近世・近代の森林と地域社会』	脇野 博
八戸の歴史双書『八戸藩遠山家日記』第十卷	中園 美穂
「必要」に答えるための研究—内山大介・辻本侑生著『山口弥一郎 のみた東北—津波研究から危機のフィールド学へ』	山田 厳子

## 宮 城 県

- ◆ナジェージダ(希望) 石巻若宮丸漂流民の会  
〒236-0052横浜市金沢区富岡西2-21-23 大島幹雄方 TEL045-773-4643  
<http://deracine.fool.jp/wakamiya/>
- ◇49 (vol.21) 2023.1 A4 40p  
善六研究会報告
- |                        |       |
|------------------------|-------|
| 第1回善六研究会・第2回善六研究会      | 大島 幹雄 |
| 第2回善六研究会から             |       |
| 若宮丸漂流民 石巻村出身の善六に関する調査  | 本間 英一 |
| 日露交渉の中で浮かび上がる善六像       |       |
| 一仏法のみちの義、どこいづくにてもおなじせ事 | 齊藤 智之 |
| 露日辞典に見る善六像の一端          | 谷川 正明 |
- 特集 露寇事件
- |                        |       |
|------------------------|-------|
| 悪人たちの選択                | 大島 幹雄 |
| 戻ってくるのは縁起が悪い           |       |
| —『ユノーナとアヴォーシ』に描かれたレザノフ | 新井 滋  |
| レザノフと文化露寇事件と仙台藩        | 木村 成忠 |
- 謁見は見世物か—外交の裏表 佐藤三寿夫
- 石巻御穀船の遭難事例について 本間 英一
- 新講談『若宮丸漂流物語』藤沢智子アナで再々演！ 木村 成忠
- 津太夫の子孫が浦戸にいるとは！
- 課外授業2(浦戸小中学校)に取り組んで 齋藤 博
- 書跡紹介
- 自著を語る 『世論政治としての江戸時代』・『〈伊達騒動〉の真相』 平川 新
- 谷川正明『知っ得く 石巻弁』
- 阿部和夫『41年目の敵討ち～石巻と久米幸太郎』

- ◆歴史 東北史学会  
〒980-0862仙台市青葉区川内 東北大学大学院文学研究科 日本史研究室  
TEL022-217-6064 年4000円 1949年創刊

<http://www.sal.tohoku.ac.jp/nihonshi/t-shigakukai/>

◇139 2022.10 A5 115+27p 2100円

- 胆沢城鎮守府の成立意義 高橋 一倫  
敦煌写本 P.3541 の「案文」(齋文)史料  
— P.2547『齋琬文』との相違の検証を中心に 海野 洋平  
近世中後期における自分仕置の展開と「内」の回路  
—「支配違い」をめぐる熊本藩・幕領日田関係 川端 駆  
平川新「帝国論」について 朴 慶洙  
北宋後期における中書舎人の位置づけ  
—元祐年間の事例を手掛かりとして 鏑木 丞  
書評 熊谷公男編『古代東北の地域像と城柵』 二上 玲子  
紹介 市川理恵著『京職と支配—平安京の行政と住民—』 阿部 栞史

## 秋 田 県

### ◆秋田民俗 秋田県民俗学会

〒010-0951秋田市川尻大川町2-8 秋田文化出版内 TEL018-864-3322  
年4000円 1973年創刊

◇48 2022.11 A5 62p 1364円

- 南祖坊と八郎太郎の争鬪伝説について 小田島清朗  
鬼の墨書土器と国境意識 児玉 駿介  
「馬頭」の出自について 石郷岡千鶴子  
遺跡出土小型獅子頭についての覚書 児玉 駿介  
第37回東北地方民俗学合同研究会報告 被り物としての手拭いの考察  
齊藤 壽胤

### ◆秋田民俗通信 秋田県民俗学会

〒010-0951秋田市川尻大川町2-8 秋田文化出版内 TEL018-864-3322  
年4000円 1974年創刊

◇137 2023.1 B5 6p

- マタギ研究事始め(1) 鎌田 幸男

### ◆菅江真澄研究 菅江真澄研究会

〒011-0909秋田市寺内尻桜1-5-55 古四王神社社務所内 TEL018-845-0333  
1981年創刊 <http://www.masumiken.com>

◇99 2022.12 B5 16p

令和四年度菅江真澄研究会総会 研究発表 真澄学を携えて 藤原 宏  
 菅江真澄が記した諸家の系譜 金児 絏征  
 連載 真澄の一枚(第31回) 小野小町の芍薬塚と椿餅  
 『粉本稿』より(大館市立栗盛記念図書館提供) 菊地 利雄  
 真澄の旅を追い続けた詩人 安永稔和先生を偲ぶ 石田 冲秋  
 『歌の行方』に導かれて 安永稔和さんを悼む 永井登志樹  
 真澄短信 「菅江真澄の道」標柱 美郷町六郷で再建・新設／日本風  
 景街道「菅江真澄と巡るあきたの道」フライヤーを発行  
 図書紹介 小堀光夫著『菅江真澄と伝承文学』  
 刊行物の紹介 『東北民俗』第五六輯、『望星』2022年11月号

◆**鷹巣地方史研究** 鷹巣地方史研究会

〒018-4301北秋田市米内沢字黒沢25-1 松橋睦子方 年2000円 1977年創刊

◇78 2022.11 A4 58p 1000円

表紙 簾内政雄(1915~2002) 簾内 順一  
 巻頭言 夏点描二〇二二 中嶋 俊彦  
 秋田路ものがたり(2) 佐藤 俊晃  
 鷹巣村近辺の肝煎層の苗字改めについて 永井 高道  
 元堰用水路の謎を解く 兼六園と似た取水技術 木村 清幸  
 地方史の手帳 岩澤氏(大館市山田)遠祖 明利又に住す 中嶋 忠輝  
 現地研修 天明・天保飢饉殉難者慰霊塔を訪ねて 佐藤 和博  
 総会講演会 北海道・北東北の縄文遺跡群と伊勢堂岱遺跡 講師・秋  
 田県教育庁生涯学習課文化財保護室副主幹 新海和広氏 文責・中嶋俊彦  
 歴史を知ると今を生きるヒントがある 澤田 昌治  
 活動の継続を願って  
 一伊勢堂岱遺跡ジュニアボランティアガイド報告(8) 中嶋 俊彦  
 菅江真澄の歩いた道一現地研修再び 桜田 俊

福 島 県

◆**フークトープ通信** フークトープ通信社

〒960-8021福島市霞町9-38 シュタースティエ102室 山田英明方  
 2015年創刊

◇53 2023.2 A4 2p

失われつつある古墳に目を向けて 及川 友江  
 フークトープ紀行(53) 耳取川親水公園(福島市) 菅野 俊之

◆ふくしまの歴史と文化財 文字摺通信

〒960-8204福島市岡部字東町35-6 守谷早苗

◇31 2023.1 A4 6p

初代信夫山のこと(2)

天龍三郎大いに語る『相撲増刊夏場所相撲読物号』

柳田国男『木綿以前の事』「女と煙草」の章に阿保原地蔵の記述がありました

福島市立商業実務学校と福島市立家政女学校について

新しい資料が出てきました

◇32 2023.1 A4 4p

福島第一小学校にあった福島第二尋常高等小学校とは…

祭神不詳の神社とは 福島市飯坂町字星の宮下“星の宮神社”

◇33 2023.2 A4 4p

ぜひ、甦らせたい！陽林寺の権門駕籠

SDGs って、景観破壊のこと？

中学校社会科歴史の教科書：東京書籍『新しい社会 歴史』(1)

中学生の歴史の勉強はこんなに難しい…

◇34 2023.2 A4 4p

もう暫く、阿保原地蔵を追いかけます

仙台市向山四丁目の大満寺に行って来ました

鎌倉権五郎景政と福島県の関係は？ 御霊神社～景政寺～豊景神社

三題噺の壺 矢吹町三城目／三題噺の式 石城郡神社明細帳／三題

噺の参 豊景神社／三題噺の結もしくはオチ／三題噺の付けたり

暫

## 茨 城 県

◆茨城の民俗 茨城民俗学会

〒310-0036水戸市新荘2-8-16 今瀬文也方 TEL029-350-3310

年3000円 1963年創刊 <http://www.minzoku.net>

◇61 2022.11 B5 100p

《特集 旅行》

千鹿頭神が陸奥へ旅した理由(1)

黒澤 雅博

ある法要の旅—タイのアオマナオ空軍基地を訪ねた思い出

鶴尾 能子

世界最大級 南米・イグアスの滝

照山 洋

子午線の通る町—イギリスのグリニッジと日本の明石

久家けい子

茨城県における三峯山信仰の成立と変遷(1)	近江 礼子
霞ヶ浦出島の墓制(3) かつての仏教寺院地帯にみる墓制 —加茂地区内加茂集落の事例から	古谷野洋子
茨城のまつり見聞録(6)	長江 慶治
川崎市川崎区大島の真観寺に伝わる二つのご利益話	清水 亨桐
日立の蛇塚(2)	梶山 廣吉
「えみし」と「日高見国」(3)	松崎健一郎

◆近代史料研究 日本近代史研究会

〒305-8571つくば市天王台1-1-1 筑波大学歴史人類学系 中野目研究室内  
Tel.029-853-4066 2001年創刊

◇22 2022.10 A5 77p

秋田県の誕生と文書管理制度の整備	柴田 知彰
宮内省参事官関係公文書の検討 —「参事官日誌」(昭和八年)を事例として	二ノ宮幹太
明治十年代における産業概念の両毛地域への波及 —『東京経済雑誌』と『栃木新聞』の分析を中心として	山本 祐麻
最上家所蔵「陸・最上家関係資料」の構造と伝来 —「陸羯南関係史料」の特定作業	中野目徹／田中友香里

◆常総中世史研究 茨城大学中世史研究会

〒310-8512水戸市文京2-1-1 茨城大学人文学部 高橋修研究室  
Tel.029-228-8120 2013年創刊

◇10 2022.3 A5 118p

巻頭言 茨城大学中世史研究会の20年、『常総中世史研究』の10年	高橋 修
戦国期における小場氏の政治的動向—佐竹西家成立前史	安達 和人
常陸太田市善光寺遺跡〔直牒洞〕の三次元計測調査—了誉聖岡が戦火 を避けた岩窟に刻まれた摩崖仏と石塔	三井猛／梅田由子
正福寺蔵「常州茨城郡笠間佐白山縁起」翻刻と解題 —笠間時朝伝承のヴァリエーションとして	宗藤 健
簡易平板測量による城館縄張り調査	岡田 武志
大戸城跡の歴史とその構造	五十嵐雄大
常陸太田市天神林文殊院蔵大般若経について I	茨城史料ネット
地方史研究協議会第71回大会(茨城大会)共通論題報告批判	高橋修／山縣創明／藤井達也
東海村歴史と未来の交流館の開館	林 恵子

新刊紹介

水戸市立博物館編『図録 徳川頼房一初代水戸藩主の軌跡一』 藤井 達也  
総目次『茨城大学中世史研究』Vol.1～9／『常総中世史研究』創刊号

～第10号

2021年度提出修士論文 中世常陸平氏と鹿島社

小堤 捺貴

栃 木 県

◆歴史だより 栃木県歴史文化研究会会報

〒320-0865宇都宮市睦町2-2 栃木県立博物館内 TEL028-634-1313

年4000円 1991年創刊

◇126 2023.1 A4 4p

《特集 徳川家康と下野》

徳川家康の遺言と日光山

山澤 学

小山評定と浅野幸長書状

新井 敦史

下野国と結城秀康

北島 隆行

新館紹介 栃木市立美術館の開館

山口加奈子

群 馬 県

◆群馬歴史散歩 群馬歴史散歩の会

〒379-2154前橋市天川大島町317-1 TEL027-223-2785

年4500円 1973年創刊 <http://www16.plala.or.jp/kuzira226/>

◇273 2023.1 A5 90p

《最終号》

表紙写真 赤城山・桃木川・観音橋(国道50号)ー前橋市下長磯町

／題字 書家 石巻碧山

撮影・山崎 正

口絵 義経の腰掛石と観音橋の説明板(女屋町)〈井田安雄 誌〉

郷土・歴史をたのしむ

山本 隆志

箕輪城跡と私

佐藤 孝夫

『群馬歴史散歩』最終号にあたって

井野 修二

海外の歴史散歩は中国から

山崎 正

『群馬歴史散歩』目次一覧 創刊号～273号(最終号)

歴史散歩(フィールドワーク)

(一) 日帰り(平成5年より令和4年)

(二) 宿泊(昭和52年より令和4年)

(三) 海外 (平成6年より平成28年)

歴史散歩の報告 神戸のあゆみ(六甲の山すそ)と有馬へのみち

(兵庫県・摂津)

山崎 正

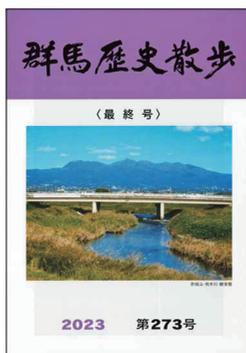
群馬歴史散歩の会賛助会員

群馬歴史散歩の会 本会の主な経緯

事務局だより 本会発行本を会員の皆様に対して無料頒布の案内を／

墓前にて報告 (山崎・小山)／機関誌と歴史散歩について／事務局

について(山崎)



\*群馬歴史散歩の会は、1973年10月に萩原進氏を発起人として創設され、翌11月には本誌を創刊した。当初は奇数月に年6回発行し、会員の減り始めた30周年の頃からは年5回、さらに40周年頃からは年4回となった。それでも現在まで273号を重ねてきたが、会を閉じることに伴い、本号で最終号となった。

最終号には、創刊からの目次一覧、平成5年以降の歴史散歩(日帰り)の日にち・場所・テーマ・講師・参加者数、会創設以来89回に及ぶ宿泊による歴史散歩(1泊2日～3泊4日)の場所・日にち・参加者数、海外の歴史散歩(平成6年から28年まで、中止を含む)41回の場所・国・日にち・参加者数の記録を掲載する。日帰り歴史散歩は年に3～7回、宿泊歴史散歩は全国に及び多い年では年に5回、人数も50名を超える回もある。平成6年以降の海外歴史散歩も、アジアを中心に中南米、ヨーロッパに及び、こちらも年に3回の年や、50名に近い回もあり、まさに歴史散歩の会の名に恥じぬ活動を続けてきたことが分かる。会誌には毎号会員による目的地についての論考や参加記が掲載され、充実している。

最終号にあたって編集委員長の井野修二氏は、「会員の皆様の持っている資料を文字化して残すことがいかに大事か、執筆の資料調査のたびに感じてきました。文字として残すことで後世の研究の資料になるものを作っていきたいと思っていました」と記している。まったくそのとおりであり、解散、終刊は誠に惜しまれる。

◆武尊通信 群馬歴史民俗研究会

〒372-0033伊勢崎市本町5226-12 永島政彦方 Tel.0270-32-9070 1979年創刊

◇172 2022.12 B5 4p

文化財指定と悉皆調査—最近の群馬県指定重要文化財に寄せて 小嶋 圭  
『牛頭天王宮縁起』が示す近世・牛頭天王信仰 鈴木耕太郎  
第121回例会記事 竹内励氏「譜代大名の参勤交代—半年交代の検討  
—」(竹内)、青木裕美氏「黒澤文書とその伝来について—上武山間  
国境地域の地侍の一形態—」(青木)

千葉県

◆我孫子市史研究センター会報

〒270-1152我孫子市寿1-3-12 荒井方 Tel.04-7182-2838

<http://abikosisiken.main.jp>

◇247 (通554) 2023.1 A4 12p

新年のごあいさつ 岡本 和男  
寄贈図書紹介

『下総散策抄—取手で暮らした三十年—』外村展子・加藤定彦著  
歴史部会 11月の活動報告 テーマ「幕府勘定所の下級役人・御普請  
役」—登用、組織変遷、職務、系譜、俸禄などを探る 山崎 章藏

井上家文書研究会 12月の活動報告  
No.976 表紙欠(御用留・寛政3亥正月～8辰年正月) 岡本 和男

古文書解読日曜部会 12月の活動報告  
「牛久騒動女化日記 全」(故高島眞一氏所蔵文書) 中村 千由

歴史探訪部会 12月の活動報告  
探訪 柏市「増尾・名戸ヶ谷地区」を訪ねる 長谷川秀也

我孫子市史を読む会 12月活動報告 『千葉県の歴史 下総国 近世編』  
第2章 第1節③から第5章 第1節① 萩原 正美

古代史研究G 12月活動報告 「我孫子市内の歴史遺産を巡る—その3」  
—湖北地区・布佐地区の主な遺跡 総論 中嶋 正義

◇248 (通555) 2023.1 A4 18p

アピスタ・ストリート展示、好評のうちに終了  
日秀 将門神社の鞘堂完成 東 日出夫

我孫子の社寺を訪ねる(49) 高野山(2) 最勝院 合同部会

日秀地区の社寺の動き 将門神社、観音寺 山本 包介

我孫子市史を読む会 1月度活動報告 『千葉県の歴史 下総国 近

世編』第2章第1節③から第5章第1節①	萩原 正美
古代史研究G 1月度活動報告 「我孫子市内の歴史遺産を巡る一そ の3」—湖北地区・布佐地区の主な遺跡 各論	中嶋 正義
歴史部会 12月の活動報告 テーマ「江戸庶民の教育力について」 萩原正美会員・谷田部隆博会員・岡本和男会員	逆井 萬吉
古文書解読火曜部会 12月度活動報告 享保の渡来象 1～6ページ	阪本 功
古文書解読火曜部会 1月度活動報告 享保の渡来象関連資料 7～13ページ	谷村 廣子
井上家文書研究会 1月の活動報告 No.976 表紙欠(御用留・寛政3 亥正月～8辰年正月) 35～41ページ前半まで	金成 典知
古文書解読日曜部会 1月の活動報告 「牛久騒動女化日記 全」(故高島眞一氏所蔵文書)	古内 和巳

◆史談八千代 八千代市郷土歴史研究会

〒276-0046八千代市大和田新田452-20 鈴木康彦方 TEL047-459-2506  
年3000円 1976年創刊

◇47 2022.12 B5 180p

《特集 旧村佐山の総合研究 そのⅠ・旧村神野の総合研究 そのⅢ》

発刊にあたって	田中 巖
故村田顧問を偲ぶ会追悼講演要旨	
村田一男先生と発掘調査	常松 成人
八千代市の板碑集成と村田顧問	巖 由美
特集 旧村佐山の総合研究 そのⅠ	
佐山の概要	田中 巖
佐山の先史・古代	
佐山貝塚と縄文人	小林 詔三
田原窪遺跡	田中 巖
佐山の近世	
佐山村の旗本領主一朝倉氏と権太氏	青田 博之
佐山村幕府領の人口と家族構成	青田 博之
道路の盛り土をめぐる佐山の出入り一件—佐藤芳徳家文書から	畠山 隆
佐山の寺院と神社	
妙福寺の縁起と仏像	鈴木 康彦
妙福寺の千部会	鈴木 康彦
施餓鬼法要	鈴木 康彦

佐山の熱田神社	荒川 好弘
佐山の民俗と現地調査報告	
佐山の元旦祭	鈴木 康彦
佐山のお太刀行事	鈴木 康彦
引き継がれてきた伊原博家の「お盆行事」	鈴木 康彦
常盤劇団と神崎の賑わい	三橋 俊一
座談会「少しむかしの佐山を聞く」(1)―佐山貝塚発掘のころ	
市原良子さん、伊原チヨさん、佐藤勝子さん、(世話役)伊原紀子さん	菅原 賢男
座談会「少しむかしの佐山を聞く」(2)―伊勢神宮参拝のころ	
市川圭輔さん、伊原チヨさん、(世話役)伊原紀子さん	菅原 賢男
特集 旧村神野の総合研究 そのⅢ	
神野・もう一つの寺 道生寺について	菅原 賢男
神野の熊野神社	荒川 好弘
神野の石造物―十三仏板碑・地藏像庚申塔・二夜又付き庚申塔	藤 由美
神野の教育者たち	菅原 賢男
『八千代市の歴史 資料編』未掲載の板碑データ2	
一下高野(補遺)&菅田君塚家墓地・小池妙光寺の板碑について	藤 由美
散策で見つけた徳本上人名号塔	山口 忠
歴史を楽しむ活動 歴史散策報告 千葉寺から青葉の森公園、七天王塚を散策／調査研究地区『佐山』を散策／大日寺、来迎寺から千葉公園の史跡散策	山口 忠
歴史を楽しむ活動 熱田神社考	久保 徹男
歴史を楽しむ活動 鬼・雑感	松柴 慎吾

#### ◆千葉史学 千葉歴史学会

〒263-0022千葉市稲毛区弥生町1-33 千葉大学文学部内 TEL043-251-1111  
年4000円 1982年創刊 <http://chibareki.blog.fc2.com>

#### ◇81 2022.12 A5 93p

巻頭随想 千葉歴史学会創立四〇周年を祝して	佐藤 博信
歴史随想	
古代史部会の三〇年	服部 一隆
中世史部会四〇年のあゆみ	遠山 成一
千葉歴史学会から学んだこと	筑紫 敏夫
四〇周年に思うこと	中村 政弘
千葉歴史学会と歴史教育	吉井 哲

天正一〇年前後の下野国の政治情勢に関する一考察

一那須資晴の動向を中心に

竹井 英文

祐天の表象と成田不動利生譚の視覚化

一近世の高僧の表象に関する試論

猪岡 萌菜

近世期、相模大山の奉納木太刀と書物の描写

飯田 隆夫

新刊紹介

長塚孝編著『シリーズ・中世関東武士の研究 第三三巻 足利成氏』

石橋 一展

佐藤博信著『中世東国日蓮宗寺院の地域的展開』

外山 信司

塚本学著『生き物と食べ物の歴史』、『歴史・民俗・博物館』

能勢 智

千葉市史編集委員会編『史料で学ぶ千葉市の今むかし』

高木晋一郎

仙石和道著『大熊信行と凍土社の地域文化運動—歌誌『まるめら』

の在地的展開を巡って』

佐久間耕治

見学記 国立歴史民俗博物館企画展「中世武士団—地域に生きた武家の領主」

鈴木三美子

例会報告

古代史部会 2022年1月例会 垣中健志氏「古代日本の馬の飼養と利用」／2022年2月例会 白井久美子氏「房総における馬文化の受容」、栗田則久氏「谷津貝塚の牛牧について」／古代史部会主催合同例会 テーマ「古代房総の牧について」

文責・石渡芳樹

近世史部会 2022年4月例会 鈴木葵「明治期下総牧開墾にみる窮民授産—開墾地豊四季における東京窮民を事例に一」

文責 鈴木葵・小田真裕

近世史部会 2022年9月例会 飯田隆夫「近世期、相模大山の現存太刀・金物太刀とその言説」

文責・小田真裕

近現代史部会 2022年11月見学会

企画展「福澤諭吉と非暴力」見む学会

文責・高木晋一郎

千葉歴史学会第四〇回総会・大会報告

## 東京都

◆明日を拓く／解放研究 東日本部落解放研究所

〒111-0024台東区今戸2-8-5 TEL03-5603-1863 1993年創刊

<http://www.hblri.org>

◇134・135 (48-4・5 通217・218) 2022.12 A5 263p 2000円

全国部落調査復刻版出版事件控訴審に向けて

片岡 明幸

《特集 差別論研究会の総括論議 分節化する「差別」、交差する「差別」  
一部落解放運動・フェミニズムの歴史を踏まえつつ》

特集にあたって

編集部

総括論議①

多様な「差別」、交差する「差別」のポリティックス

—差別論と部落解放運動の現在地

吉田 勉

質疑・応答

総括論議②

「差別論研究会」へ／から

—「差別」に抗する思想運動をどう捉え直すか

井桁 碧

質疑・応答

総括論議③ 全体討議／差別の分節化と再構造化の途上で—差別論研  
究会のやってきたこと

ヒューマンライツ再入門(5)

差別被害者救済のために一人種差別禁止法を作ろう

前田 朗

◆足立史談 足立区教育委員会足立史談編集局

〒120-0001足立区大谷田5-20-1 足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇658 2022.12 A4 4p

ルドレフ・レーマンに出会う旅(2)—レーマン兄弟と京都

多田 文夫

昭和初期の万控帳からみる足立の下肥運搬

間所 瑛史

◇659 2023.1 A4 4p

千住に暮らした「狩野芳崖四天王」の一人 市井の仏画師 高屋肖哲

小林 優

鎌倉幕府滅亡と足立の板碑

関口 崇史

◆足立史談会だより

〒120-0001足立区大谷田5-20-1 足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇417 2022.12 A4 4p

講演「俳句と人生を語る」

足立区俳句連盟会長・千住の芭蕉翁顕彰会会長 小谷武生先生

(堀)

民主主義を見直そう 戦後の新教育指針(文部省資料昭和21.5.1)(28)

編・堀川和夫

松戸戸定邸探訪報告／炎天寺一茶まつり

記・唐沢邦子

史談会大学講座報告 第3回史談会大学講座 萩原ちとせ郷土博物館

学芸員「区政90周年記念文化遺産調査特別展「琳派の花園あだち」

展」 (堀)

◇418 2023.1 A4 4p

「隅田川七福神めぐり」 (吉岡記)

史談会探訪連絡 花畑界限 大鷲神社、花畑浅間神社・富士塚、文教

大学(東京足立キャンパス)の探訪

民主主義を見直そう 戦後の新教育指針(文部省資料昭和21.5.1) (27)

編・堀川和夫

旅日記 ジャがいも 瓦版より山口・報告

記・唐沢邦子

明治昭和が一体の洋館 移築プロジェクト 三角屋根の「眼科」を残

したいーランドマークの大橋眼科(令和4年11月、朝日朝刊記載より、

一部編集)

◆あるむぜお 府中市郷土の森博物館

〒183-0026府中市南町6-32 TEL042-368-7921 1987年創刊

<http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/>

◇142 2022.12 A4 8p

復元建物、郷土の森に建つ(7)

旧府中郵便取扱所(旧矢鳥家住宅)

佐藤 智敬

最近の発掘調査 第六小学校で発見された縄文時代の落とし穴と調理

跡 天神町4丁目

佐藤 梨花

NOTE 野鳥報道ステーション 環境維持が鳥を呼ぶ

中村 武史

展示会案内 特別展 多摩川のアユ(鮎)み

佐藤 智敬

多摩川今昔 TAMAGAWA IMA MUKASHI(3)

合戦の勝敗をわけた川

石澤茉衣子

太陽系惑星ツアー(7) 見える?見えない?天王星

小林 善紹

◆奥武蔵 奥武蔵研究会

〒175-0092板橋区赤塚7-18-7 <http://okumusasi.travel.coocan.jp>

◇449 2023.1 B5 25p

表紙 笠山を後に 坂元村の庚申塔 寛政三年(1791)

新しい年を迎えて想うこと

小泉 重光

失われた理想郷(2)一浦山谷の現状報告

小泉 重光

奥武蔵の道迷いしやすい登山道一河野尚久氏の山行報告に寄せて

町田 尚夫

武蔵国歴史漫遊記Ⅲ一畠山重忠

関口 洋介

奥武蔵研究会の地域連携活動について(下)

町田 尚夫

22年度 河田賞

小泉重光/加藤恒彦/成川茂雄/関口洋介

22年度 山行賞	河野 尚久
山行報告	
有間山(橋小屋ノ頭)	河野 尚久
笠山から堂平	村木 悦子
西善寺のコミネカエデ	吉田美知子
荒幡富士から八国山緑地	岡野 守
忘年集会山行	村木 悦子

◆儀礼文化ニュース 儀礼文化学会

〒160-0012新宿区南元町13-7 TEL03-3355-4188 <http://www.girei.jp>

◇228 2022.12 A4 8p

催事スケッチ 愛知県東栄町 花祭 新しい年を寿ぐ鬼たちの祭

写真と文・久保田裕道

儀礼文化を語る

儀礼文化講座(令和4年度第4回) 茶道 『『わび茶』再考』 大日本茶道学会会長 田中仙堂

儀礼文化講座・生活芸術講座(令和4年度第5回) 神道 『『大祓詞』を読む』 國學院大學教授 西岡和彦

儀礼文化を語る 儀礼文化講座・生活芸術講座(令和4年度第6回) 諸宗教「立正佼成会の儀礼(儀式)について」立正佼成会杉並教会教会長 千葉和男

レポート 儀礼文化セミナー(令和4年度第2回) フラワーデザイン 「夏のご自宅を彩るフラワーアレンジメント」

講師・明治記念館フラワーデザイナー 安藤典宣 千葉 麻里

安寧な暮らしを願う風流踊 ユネスコ無形文化遺産に記載

写真・文 久保田裕道

儀礼文化研究会(令和4年度第1回)

東京の婚姻儀礼の伝承と特質―「夫婦固め」を中心として 鈴木一彌／内モンゴル東部の牧畜における祈願の儀礼―民間芸能者ホールチの伝承を中心に 蒙古貞夫

献華式レポート 明治神宮献華式 今年度は「古流松藤会」が担当

栗田恵津子

儀礼文化アーカイブ 第四回地方大会 みちのくの祭りと中尊寺 松崎 睦彦

ニュース 新しい登録無形文化財 生菓子 保持団体：優秀和菓子職

会／京料理 保持団体：京料理技術保存会

◆国史学 国史学会

〒150-8440渋谷区東4-10-28 国學院大學史学科気付 TEL03-5466-0246  
年4000円 <https://www2.kokugakuin.ac.jp/kokushi/>

◇237 2022.12 A5 98p

一橋徳川家勘定所機構改革における人材登用 高藤 弘之  
戦国期初頭における日野家の政治動向について 森 成史  
書評と紹介

谷口康浩著『土偶と石棒 儀礼と社会ドメスティケーション』 中村 耕作  
佐藤孝之著『近世駆込寺と紛争解決』 吉岡 孝

2月例会報告要旨

器財埴輪の出現からみた古墳時代における墳丘表飾の歴史的意義 樋口 典昭  
古墳壁画を考えるーキトラ・高松塚を中心に 黒澤ひかり  
古墳時代のアルチザンー彫刻と絵画の位置付けをめぐって 深澤 太郎

例会「卒業論文報告会」報告要旨

第一ミーティング

仿製内行花文鏡の研究 渡辺 夏海  
十・十一世紀における日本の対外交易 中野 敬寛  
地方官制から見る宋代の蝗害対策ー北宋監司の変遷と蝗害対策 酒井 美月

第二ミーティング

豊臣政権の東アジア認識 大胡 友暉  
『都風俗化粧伝』にみる江戸時代の化粧の特徴 須永 玲希  
近世中後期の北陸農村における飴売業の展開 飯田 朝子

第三ミーティング

時局匡救事業における陸軍経理組織の活動 大藪 佳純  
イギリス領インドにおける帝国医療 多和田ゆき乃  
近代における東京観光の展開 常盤菜歩子

5月例会報告要旨

鮮卑拓跋部を中心とする北方民族の祭天儀式と伝統 張 雯雯  
チベット史研究の現状と課題 小松原ゆり

◆城郭史研究 日本城郭史学会（発売：東京堂出版）

〒174-8691板橋北郵便局私書箱50号 TEL03-3967-1948 年6000円  
1968年創刊

◇41 2022.12 B5 138p 2700円

「公儀御普請」ー現場監督する大名 及川 亘  
織田信長の二条城普請 黒嶋 敏

徳川期大坂城の石垣普請における大名家中組の編成 北野 博司  
仙台市内の戦国期城館に関する一考察—陸奥国名取北方富沢館の研究

竹井 英文

初期写真で読み解く江戸城—内田九一の新発見写真を中心として

野中和夫／清水あつし

和歌山城を石垣石材から見る

渡瀬敏文／水島大二

砕玉類題

舎人城試論

星 淳也

会津柏木城

井口 彰

城郭史関係文献目録

阿部 和彦

平成30年度日本城郭史学会 活動報告

大橋 健一

受贈図書紹介 竹井英文著『杉山城問題し戦国期東国城郭』、西ヶ谷  
恭弘著・笹崎明編集協力『四七都道府県・城郭百科』、中村博司著  
『天下統一の城 大坂城(改訂版)』、伊藤一美編『新知見! 武士の都  
鎌倉の謎を解く』、柴辻俊六編『戦国期武田氏領研究の再検討補遺』、  
深井雅海著『江戸城御殿の構造と儀礼の研究 空間に示される権威  
と秩序』、長屋隆幸著『山内一豊・忠義』、飯村仁・室野秀文編  
『続・東北の名城を歩く 北東北編』、山口充・佐伯哲也編『北陸の  
名城を歩く 福井編』・佐伯哲也編『北陸の名城を歩く 富山編』、  
和歌山城郭調査研究会『和歌山城郭研究』第二一号、東海古城研究  
会『城』二二二・二三三号、静岡古城研究会『静岡県の城郭 中世  
城郭縄張集成(西部・遠江国版)』、静岡古城研究会『古城』第六五  
号、愛知中世城郭研究会『愛城研報告』第二四号、姫路市立城郭研  
究室『城郭研究室年報』第三一号

#### ◆城郭だより 日本城郭史学会会報

〒174-8691板橋区板橋北郵便局私書箱50号 TEL03-3967-1948

年6000円 1993年創刊

#### ◇120 2023.1 A4 6p

伏見城跡で「豊臣期」石垣が出土(京都新聞2022.10月14日より)

最近の城郭ニュースから1 松本城南外堀跡・三の丸跡 発掘調査説  
明会資料より／山形城本丸北堀土塁 発掘調査説明会資料より／多  
賀城 政庁喜多川にも鍛冶工房か

最近の城郭ニュースから2 金沢城 二の丸御殿金具出土／八戸城  
本丸正門跡、堀跡か／鶴ヶ岡城 土橋の一部検出／吉田城跡 千貫  
櫓に埋め殺しの石垣

南九州の名城・古城を訪ねて一二〇二二年度日本城郭史学会旅行会 水越 英雄  
最近の注目される城郭図書から 三浦正幸著『天守 芸術建築の本質  
と歴史』、小池汪写真 野中和夫写真解説『小池汪写真集 江戸城  
石の故郷』  
各地の城郭研究会の活動から 和歌山城郭調査研究会、日本古城友の  
会、東海古城研究会、戦国と城を学ぶ会

◆西郊民俗 西郊民俗談話会

〒112-0005文京区水道2-3-15-403 小池淳一方 年2000円 1957年創刊  
<http://seikouminzoku.sakura.ne.jp>

◇261 2022.12 B5 25p

宝珠の玉を描く絵師—宮城県気仙沼市地域における正月飾りの絵 鈴木 英恵  
疫病除けの呪符「籠簾乙(きしおつ)」考(2)

—利根川流域での流布 榎 美香  
岩船山高勝寺所蔵の犬猫絵馬 林 京子  
富山県魚津市古鹿熊の島の民俗追補—忌避される鳥、葉とされる鳥 森 俊

◆杉並郷土史会史報

〒167-0022杉並区下井草3-12-9 新村康敏方 1973年創刊  
<http://www.sugi-chiiki.com/rekishikai/>

◇297 2023.1 A4 8p 400円

杉並の古文書を読む 幕末に出された命令書(3) 沖本一暁／日吉伸介／宮部則子  
「杉並郷土史会」五〇周年の思い出(1)

創立五〇周年記念 合冊第六巻作成 波 巖  
会報第二五一号～三〇〇号までの執筆者(著作者)へのお願い 編集部

◆せたかい 世田谷区誌研究会

〒158-0094世田谷区玉川3-30-5 野岸敏雄方 年2000円 1951年創刊  
<https://setagaya-kushiken.jimdofree.com>

◇72 2022.12 B5 52p

「世田谷」72号発刊にあたって 野岸 敏雄  
下山照夫名誉会長を偲んで 内山 昌幻  
世田谷の軍事基地と軍用道路246号線 濱中 正之  
幻の瀧沢寺を尋ねて 小倉 明  
「せたかい」表紙の変遷 編集部  
あなたも語り部 あのときの記憶

東京大空襲	内山 昌幻
疎開の話	市川 博正
「野球は巨人・キャラメルは紅梅」の思い出	大塚 勝利
しいの木訓標 関東大震災後の鳥山事件の思い出	
せたかい32号より	下山 新三
世田谷最古の写真 せたかい56号より	倉島 幸雄
東日本大震災特集	
お風呂に入っていました	(I・H)
3月11日午後2時46分 あの日のあの時	(O・K)
私のあの日のあの時	(M・K)
あの日のあの時と原発事故	(H・R)
3月11日の記憶	(Y・T)
あの日都庁にいました	(O・N)
大勝庵 玉電と郷土の歴史館 紹介	大塚 勝利
史跡散歩 世田谷郷土資料館展示品と世田谷城址解説	天海 敏彦

#### ◆世田谷区誌研究会会報

〒158-0094世田谷区玉川3-30-5 野岸敏雄方 年2000円

<https://setagaya-kushiken.jimdofree.com>

#### ◇2022-12 2022.12 A4 2p

11月の活動報告 演題：鎌倉街道と奥州古街道の魅力―世田谷の古街

道と各地の“道”の遺跡 講師・宮田太郎氏

初詣は地元の氏神様へ 世田谷区内の神社一覧

#### ◇2023-1 2023.1 A4 2p

令和5年を迎えるにあたって

野岸 敏雄

新たな方針で せたかい72号 発行

令和5年(2023年) 講演会・史跡散歩予定

#### ◇2023-2 2023.2 A4 4p

会員情報(小池正夫氏より)

玉川区民企画講座「等々力渓谷を流れる谷沢川の記憶」

世田谷の民話(39) 子別れの儀式をやめて鎮守で暮らす母子キツネ／

稲荷神社、初午、区内の稲荷神社

作者・桜井正信

世田谷の民話(40) 等々力の狐／太子堂の狐

豊田真佐男

#### ◆大道芸通信 日本大道芸・大道芸の会

〒157-0061世田谷区北鳥山2-3-9-101 光田憲雄 TEL03-3307-2146

<http://daidogei.info>

◇373 2022.12 A4 2p 100円

江戸連主催 江戸の芸能を楽しむ 江戸の大道芸 大好評で終る 江戸の物売り／玉すだれ／わいわい天王／ろくま／絵解き地獄極楽／女霊媒師／神霊術ほか

◆多摩地域史研究会会報

〒207-0033東大和市芋窪4-1735-1-103 梶原方 1991年創刊

<http://tamatiken.web.fc2.com>

◇152 2023.1 B5 8p

第113回例会報告 野川流域の文化財を歩く一復元されたワサビ農家  
と新車水車を中心に 梶原勝／梶原喜世子

◆多摩のあゆみ たましん地域文化財団

〒186-8686国立市中1-9-52 TEL042-574-1360 年600円 1975年創刊

<https://www.tamashin.or.jp>

◇188 2022.11 A5 108p

《特集 多摩の社寺建築》

正福寺地藏堂(東村山市)と周囲の文化財 小川 直裕

武蔵国総社 大國魂神社の神社建築について 村上 藍

高尾山薬王院飯縄権現堂、知ると世界が広がる 相原 悦夫

修復の歴史から見た高幡山金剛寺 秦 哲子

武蔵御嶽神社摂社・常磐堅磐社の御殿について

—「江城鎮護」の御嶽蔵王権現社の御本殿 黒田 耕

大悲願寺の社寺建築 渡邊 保弘

洋風建築への誘い(77) 玉川上水の流れ・橋・建物(2) 伊藤 龍也

建物雑想記(72) 養蚕民家のアトリエ「旧吉岡家住宅」 酒井 哲

古文書は語る(63)

塩野適斎と八王子隕石—極楽寺所蔵「桑都日記」稿本より 馬場 憲一

多摩の金融史(22) 多摩地域で活動した無尽会社 陳 玉雄

多摩の歴史を立体視!—赤色立体地図の風景 15

湯殿川流域の湧水分布と中世武士文化(2) 鈴木 泰

本の紹介

松崎元樹著『東京の古墳を探る』 小畑 直輝

樺島榮一郎著『ある土地の物語 中島知久平・ヴォーリズ・レーモ

ンドが見た幻』 松山 龍彦

◆東京産業遺産学会 NEWSLETTER

〒174-0046東京都板橋区蓮根2-29-10 新蓮根団地105 多田統一方 FAX03-3964-8548／〒352-0011埼玉県新座市野火止4-8-43 柚須紘一方 FAX048-479-7490 年2000円 <http://tias3.web.fc2.com>

◇158 2023.1 A4 6p

横浜赤レンガ倉庫周辺の知られざる産業遺産3題 文・写真 中川 洋

富山の「寄付女王」 馬場はる 文・写真 奥原一三

大田区立郷土博物館で「園芸史展」

12月11日講演会 「新橋—横浜間開業からの蒸気機関車110形の来歴と

産業文化遺産としての変遷について」報告 久保 健

新刊紹介 『これであなたも歴史探偵！ 歴史資料調査入門』 著者・

編著者：千枝大志・川口淳 文・権上かおる

茨城県ひたなか市の赤煉瓦建築物(5) 宮道架道橋梁 文・写真 八木司郎

◆東京大空襲・戦災資料センターニュース

〒136-0073江東区北砂1-5-4 政治経済研究所 TEL03-5857-5631

年2000円 2002年創刊 <https://www.tokyo-sensai.net>

◇42 2023.2 A4 12p

巻頭言 吉田 裕

東京大空襲を語り継ぐつどい 東京大空襲・戦災資料センター開館21周年

春季企画展の案内 空襲体験記を書く、一冊に編む—東京空襲を記録する会が収集した空襲体験記の〈原稿〉展

関連イベントの紹介

「東京空襲犠牲者の名前を読み上げ、心に刻む集い・2023」

夏休み特別企画「みんなでまなび、つたえよう！ 東京大空襲」を開催しました！

比江島大和

夏季特別展「ある少年が見た東京大空襲—坂井輝松空襲体験画展」を開催しました！

比江島大和

展示改修—防空模型作り

小藺 崇明

そのほか、実施済みの展示改修 空襲の歴史年表／3月10日の展示／Wi-Fi 環境の整備と貸出用タブレットの導入

「平和学習プログラム・教材開発に関する研究」について

早川 則男

継承者育成事業

小藺 崇明

東京大空襲・戦災資料センターとの出会い 体験者 鈴木賀子さん／

「東京大空襲を語り継ぐつどい」に参加して ボランティアガイド

由里容子さん／感想ノートから

◆練馬郷土史研究会会報

〒179-0072練馬区光が丘5-2-3-806 鎌田茂男方 Tel.03-3977-3091

年2000円 1956年創刊

◇387 2023.1 A4 2p

練馬山の馬出—その機能と歴史的意義を考える 八巻 孝夫

高札場 9月例会 練馬城址と周辺寺院・カネボウ跡地を巡る歴史散

歩／11月例会 幻の鎌倉將軍御所跡を歩く

◆練馬古文書研究会会報

〒176-0022練馬区向山3-21 保戸塚太地方 Tel.03-3999-8871 1985年創刊

<http://www.7b.biglobe.ne.jp/~tagame-y/>

◇67 2022.12 B5 4p

講演会 「桶狭間合戦」の再考察 武田 健作

追悼文

柴辻俊六先生を偲んで 栗山 格彰

『練馬ふるさと事典』のことなど 桜井 孝子

柴辻先生を偲んで 長坂 淳子

事務局通信 令和四年度総会報告、寄贈書誌紙 記・寒河江耕作



\*2022年5月21日に81歳で亡くなられた柴辻俊六氏への追悼文3点が掲載されている。

同氏は早稲田大学図書館に長く勤務し、主に古文書の整理と目録作りに携わった。出身が山梨県竜王町(現甲斐市)であったことから、武田氏の研究に打ち込み、「戦国大名領の研究」で文学博士の学位を授与されている。岩田書院から『早稲

田文庫の古文書解題』(1998)や『戦国期武田氏領研究の再検討(中世史研究叢書34)』(2012)ほかを出版している。早稲田大学や法政大学などで非常勤講師も勤めた。

住まいが練馬区内であったことから、在職中から練馬古文書研究会に参加し、同会編・刊の『武蔵国土支田村小島家文書目録』(1985)や、同会編『練馬ふるさと事典』(東京堂出版 2011)には歴史研究者としての専門的立場から尽力した。

私事ながら、筆者(飯澤)は小島家文書調査の頃、何年か同会の末席を汚し、ご指導いただいた。古文書解読や解釈で一字一句ゆるがせにしない厳しい姿勢が印象に残っている。

以てご冥福を祈りたい。

#### ◆東日本部落解放研究所ニュース

〒111-0024台東区今戸2-8-5 TEL03-5603-1863 1986年創刊

<http://www.hblri.org>

◇103 2022.11 A4 6p

第35回研究・交流集会を開催 やむなく昨年度に続き、リモート形式

で／第35回研究・交流集会 プログラム

大串夏身さんの記念講演会を聴いて

文責・鳥山 洋

東京の部落解放運動の現状と課題

部落解放同盟東京都連書記長 近藤登志一さん

文責・鳥山 洋

同和教育と私一東京の同和教育の歩み 松浦利貞さんの報告と感想 岩崎 貴子

近世練馬部落史をめぐる諸問題一菊地照夫さんの報告を聞いて 文責・鳥山 洋

#### ◆民俗建築 日本民俗建築学会

〒162-0834新宿区北町18 TEL03-3260-3653 年9000円

<http://www.folkhouse.org>

◇162 2022.11 B5 135p

扉絵 旧土屋家 福井市おさごえ民家園

道塚 元嘉

巻頭言 博物館網走監獄開館40周年記念

角 幸博

審査論文 地域社会の変容と町並み保存地区における住民の保存意識

の変動の関係 瀬戸内海・大崎下島における呉市御手洗重伝建地区

での質問紙調査(1997年、2007年、2013年)を通じて

吉田倫子／上村信行

2021年度大会発表研究論文

絵巻に描かれた障子の文様意匠

横田駿／山田岳晴

岐阜県岐阜市川原町の町家の正面構成

山岡伸／山田岳晴

2022年度大会発表研究論文

渥美半島における明治末期の瓦生産の地域的特徴	
－『愛知縣渥美郡統計書』からの考察	林 哲志
尾道の茶園建地区に関する研究	竹原和秀／金澤雄記／渡邊義孝
さいたま市に在る長屋門一門部周りの構造を考察する	植木 秀視
漢字文化圏の棟札	佐藤 正彦
一般社団法人日本民俗建築学会 第49回大会報告	河原 典史
2022年度大会見学会報告 宇治の文化的景観と南山城の民家	村上 忠喜
民俗建築アーカイブ(23)	
広島市平和記念公園及び記念館設計懸賞募集要項	古川 修文
委員会活動情報	
「民俗建築継承検討特別委員会」の設置	小澤 弘道
民俗建築継承検討特別委員会 活動事例(1)	
東日本大震災・福島県大熊町の活動	大山 孝正
新刊紹介	
朴賛弼著『入門テキスト 建築環境・設備』	大平 茂男
谷沢明著『日本の観光③—昭和初期観光パンフレットに見る《関東	
・甲信越編》	林 哲志
渥美半島の昭和を記す会編著『渥美半島の昭和—57編の手記から蘇	
る30年代—』	林 哲志
板橋春夫著『産屋の民俗』	西尾 嘉美
稲益祐太著『南イタリア都市の空間史 プーリア州のテリトリーオ』	
	出口 清孝
文献紹介 単行本・報告書・論文	

◆洋学史通信 洋学史学会

〒182-8585調布市調布ヶ丘1-5-1 電気通信大学大学院情報理工学研究科 佐藤賢一研究室気付 TEL0424-43-5592 <https://yogakushi.jp.org>

◇37 2022.12 A4 16p

洋学史学会と私 青木 歳幸

洋学史学会・オランダ王国大使館主催 洋学史学会監修『洋学史研究事典』刊行記念講演会 テーマ「洋学—日蘭の出会いと知の共創の歴史—」「ティツィングが入手した日本の書物」—洋学とは何か 松方冬子／「金唐革」と「衣服」—洋学に影響を与えた「モノ」 イザベル・田中・ファンダーレン／「ワイン」—国産葡萄酒までの長い助走 野澤丈二／「幕末のオランダ留学」—シモン・フィッセリングと明治日本の夜明け 大久保健晴／「種痘」—天然痘予防をめぐる知

の共創 青木歳幸

さらなる知の共創にむけて—洋学史学会監修『洋学史研究事典』刊行

記念講演会に参加して

堅田 智子

『洋学史研究事典』刊行記念講演会「洋学—日蘭の出会いと知の共創

の歴史—」に参加して

古木 景子

『洋学史研究事典』刊行記念講演会を拝聴して

佐藤 香代

「洋学—日蘭の出会いと知の共創の歴史—」に参加して

松村 紀明

2022年度洋学史学会年間スケジュール

2022年度洋学史学会若手部会活動記録(2022年11月1日現在)

文責・橋本真吾

新刊紹介

松方冬子編『オランダ語史料入門 日本史を複眼的にみるために』

大島明秀『蘭学の九州』

岩下哲典編著『「文明開化」と江戸の残像 一六一五～一九〇七』

青木歳幸・W.ミヒェル編『天然痘との闘いⅢ—中部日本の種痘—』

星原大輔編『江藤新平関係書翰』

## 神奈川県

◆馬の博物館研究紀要 馬事文化財団・馬の博物館

〒231-0853横浜市中央区根岸台1-3 根岸競馬記念公苑 TEL045-662-7581

1987年創刊 <http://www.bajibunka.jrao.ne.jp>

◇23 2022.12 B5 51+34p

八条流馬術の成立と展開

長塚 孝

狩野岑信の伝記と浜町狩野家の家格に関する一考察

—「曾我物語図屏風」(馬の博物館蔵)の紹介を兼ねて

柏崎 諒

江戸城御厩の繋養馬について—将軍はどのような馬に乗っていたのか

金澤 真嗣

◆小田原史談 小田原史談会

〒250-0021小田原市早川160 青木良一方 TEL0465-22-8852

年3000円 1961年創刊 <http://odawara-shidan.hustle.ne.jp>

◇272 2023.1 A4 40p

講演録 相模湾からみた人類の歴史(下)

講師・杉山浩平

下堀方形居館と志村一族

志村 學

「文化二年小田原分限帳」が出版されました!

小田原史談会秋の史跡巡り 川越城と川越まち歩き

山口隆夫／青木良一

酒匂川改修工事で見せた「治水技術上の対応」	片桐 稔晴
「片岡日記・明治編」こぼれ話	片岡日記を読む会
第一話 貫子	松島 俊樹
第二話 早かった！ 活動写真上映	大井 みち
第三話 松原神社舟歌	松島 俊樹
第四話 豚児が龍を生む	青木 良一
第五話 高嶋嘉右衛門の易断	青木 良一
日本画家・近藤弘明の芸術(6)	田代勉(翠舟)
講演録 続・小田原の道祖神と道祖神祭り	
	講師・保坂匠／編集担当 青木・荒河
「タウンニュース」掲載コラム集 鎌倉殿と県西地域	小田原史談会
第一回 頼朝の涙(佐奈田霊社)	青木 良一
第二回 頼朝の命を狙った男(曾我兄弟の仇討)	諸星 幸雄
第三回 藝は身を助くる(弓の名人 河村三郎義秀)	諸星 幸雄
第四回 頼朝の乳母、摩摩尼	野村 朋弘
第五回 源頼朝と松田亭の朝長	諸星 幸雄
第六回 義朝・頼朝に仕えた中村一族	関谷 満
第七回 曾我兄弟の養父・曾我祐信	諸星 幸雄
最終回 承久の乱と高倉範茂処刑の地	荒河 純
番外編① 鎌倉殿はなぜ死んだ	宮原 諄二
番外編② 実朝の首塚はなぜ秦野に？	宮原 諄二
時処人一年頭雑感(『日本経済新聞』昭和29年1月1日掲載)	岸田 國士

◆鎌倉 鎌倉文化研究会

〒248-0016鎌倉市長谷3-11-2 観音ミュージアム内 TEL0467-22-6100  
1959年創刊

◇131・132 2022.7 A5 158p 2000円

広元から義時へー鎌倉の「執権」制の成立	岡田 清一
隠岐の後鳥羽院とその宸翰	伊藤 一美
「葉山」と古代駅	篠原 幸久
鶴岡八幡宮の本地仏	高橋晋一郎
鶴岡八幡宮と猪俣堂隠元氏	山野龍太郎
金沢区長島家文書『御用金調達控帳』(下)	
一幕末期明治初期の武州金沢藩と鎌倉寺社祠堂金について	飯塚 玲子
『亀谷山記録』(20)	鎌倉古文書研究会
神奈川の窓(49)(50)―「地方史研究」から(2021年2月～12月)	井上 隆男

◆かまくら女性史の会 Newsletter

〒248-0012鎌倉市御成町18-10 N P Oセンター鎌倉気付 メールボックス26  
2013年創刊 <https://kanagawajoseishi.jimdofree.com>

◇101 2023.1 A4 2p

資料「PAVLOWA」

横松佐智子

シリーズ：私たちの「戦争体験」(26)

第2話「北朝鮮羅津にて」

阿部 光世

鎌倉市生涯学習センター条例改正後の状況

(曾原)

市民のための図書館づくり—鎌倉市図書館整備に向けた意見交換会

(高階)

◇102 2023.2 A4 2p

かまくらの保育Ⅱ—昭和初期から終戦まで

(多和田)

シリーズ：私たちの「戦争体験」(27)

第3話「北朝鮮羅津にて」

阿部 光世

映画『ブラン75』

(高階)

◆県史史談 県史史談会

〒243-0033厚木市温水342 内藤佳康方 TEL046-247-1751 1961年創刊

◇62 2023.1 A5 44p

厚木・海老名の水道みち

橋川 明

廣田善朗の生涯(1)—その時代区分

岩崎 稔

関東大震災と横須賀海軍水道

千葉 弘

令和四年度事業報告 総会・史跡めぐり

◆クロス 常民文化研究会

〒254-0016平塚市東八幡2-8-20 西海賢二方 年1000円 1979年創刊

◇172 2023.2 B5 6p

三遠信美流れの結節点—限界の山村暮らしから(14)

147年ぶりに復活した豊田市小田木人形座によせて

西海 賢二

◆市史通信 横浜市史編集室

〒220-0032横浜市西区老松町1 横浜市中央図書館地下1階 TEL045-251-3260

2008年創刊 <https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/yokohamashi/gaiyo/shishioryo/>

◇45 2022.11 A4 12p

戦後横浜の洋装店—ボンゲー洋装店資料

上田 由美

戦争にめぐる市民の記録

羽田 博昭

横浜市市民博物館始末

百瀬 敏夫

子どもたちの冬休み  
関連資料紹介 『横浜市の学童疎開』（1996年）  
金 耿昊  
金 耿昊

◆首都研ネットワーク 首都圏形成史研究会

〒231-0021横浜市中区日本大通3 横浜開港資料館内（事務局：西村健）  
TEL045-201-2169 年3000円 <http://shutokenshi.org>

◇96 2023.2 B5 4p

研究例会 第124回例会 西村健「東京府・市における関東大水害の概要」、佐藤貴浩「南足立郡における水害と荒川放水路の建設」、足立区内の水害関連史跡巡見／次回の研究例会 2023年度総会・第125回例会（予定）

情報ネットワーク 展示会情報！

新刊案内 土田宏成・吉田律人・西村健編『関東大水害一忘れられた1910年の大災害―』

小研究会の活動状況 首都圏災害史研究会、戦後首都圏研究会

◆日本の石仏 日本石仏協会（発売：青娥書房）

〒254-0031平塚市天沼7-59-305 TEL0466-24-0203 年8000円  
1977年創刊 <http://sekibutukyokai.jp>

◇178 2022.12 A5 64p 2000円

表紙 六地藏石塔 川崎市麻生区片平 修廣寺（しゅこうじ）

写真と文・高橋俊昭

特集 地藏アラカルト

お地藏さん 中野 高通

仰反り地藏 榊田 大力

虫喰地藏菩薩 門間 勇

ケダニ地藏 高橋 弥生

水子地藏／子育て地藏／下郷の子育地藏 角田 尚士

見返り地藏 長島 誠

六臂の地藏菩薩／化仏のある地藏菩薩／菩薩形の六地藏菩薩／笠地藏菩薩／目疾地藏菩薩／坐・立の六地藏菩薩／五道安樂の地藏菩薩／手錫杖の地藏菩薩／くよづかのべったら地藏菩薩／見返り地藏菩薩／無腮地藏菩薩／声聞形地藏菩薩／愚痴聞き地藏尊 門間 勇

血流地藏 村上 昭彦

えんが地藏（因果地藏）／西向き地藏 三代川千恵子

落馬地藏／仲良し地藏／しばられ地藏①／踏切地藏／お茶あがれ地

蔵／一言地藏／焙烙地藏／しばられ地藏②	長島 誠
息を持つ地藏菩薩／塩地藏菩薩／水子地藏尊／灯笼・火袋角の六地藏菩薩／蕎麦喰い地藏菩薩／一石十二地藏菩薩／二童女地藏菩薩	
／思惟形地藏菩薩／鍋かぶり地藏菩薩／阿弥陀三尊・六地藏菩薩	
	門間 勇
宮ノ下地藏尊	伊東 英明
早苗地藏	前川 勲
子抱地藏①／子抱地藏②	小川 洋子
いぼ取り地藏	清水 亨桐
水呑地藏／腹帯地藏／舟地藏／厄除地藏／恵母地藏／泣き地藏／思	
無地藏／御姫地藏	中森 勝之
三面地藏菩薩(二体)	門間 勇
徳利を背負ったお地藏さま	星野 紀子
砂糖なめ地藏／一石六地藏	渡邊三四一
藪田石製地藏半跏像	尾田 武雄
福富地藏尊 バット地藏	滝本やすし
子守地藏／笠地藏	中森 勝之
化粧地藏	長島 誠
京都賽の河原の地藏さま	殿南 直也
贅崎いぼ取り地藏	嘉津山 清
鉄砲地藏／油地藏	福原 教雄
三日月地藏	嘉津山 清
往生院の放牛地藏／愛宕神社の將軍地藏／延命寺の賽の河原の地藏	
	前川 清一
中ノ尾の供養地藏	嘉津山 清
石仏論考 丸石道祖神ノート(7)一丸石信仰の展開(5)	
男女双体道祖神との比較から	岡田 均
本邦石造物研究の歴史(5) 戦後から1958年(昭和33年)	嘉津山 清
石仏の風景(4) 倉田辰彦作「稚児地藏」	関根 文範
誌上講座 石仏入門(32)「日本石仏図典」補足・VI	門間 勇
日本石仏協会主催 バス石仏見学会報告	
庚申塔を中心に湘南の石仏巡り	三代川千恵子・記
第四三回石仏公開講座を終えて 第一講「観音の女神性」講師・小島	
隆司氏(門田春雄記)／第二講「民間信仰の中の動物石像一オオカミ	
を中心に一」講師・下平武氏(中森勝之記)／第三講「災害の石仏一	
伝承・供養と遺戒の石造物一」講師・中森勝之氏(中野高通記)／第	

四講「房絵の大名・旗本墓」講師・小高春雄氏(三代川千恵子記)

◆扣之帳 扣之帳刊行会

〒250-0021小田原市早川60 青木良一方 TEL0465-22-8852 年2500円  
2003年創刊

◇78 2023.1 A5 116p 500円

- 小説一幕末銀板写真倶楽部 ポトゲラヒ(10) 荒河 純  
小田原・文学の小箱(8)―私のコレクションから  
井上康文の書簡―永田東一郎宛て 杉山 博久  
小田原藩吉田島組合宮之台村の仕法 尾上 武  
続々・ボクの映画館(7) 黒澤明の「戦後第一作」『虎の尾を踏む男達』  
平倉 正  
駒ヶ根行〈幻想微片〉伊那谷・天竜川へ 小濠 眞宝  
詩 昼寝猫 加藤 三朗  
明治文学談義 露伴・紅葉・鏡花 青木 良一  
三千分の四の兵のつぶやき 芳賀喜久雄  
鉄斎の謎(4) 茂木 光春  
新刊紹介 小田原史談会『片岡日記 大正編』発刊

◆民具マンスリー 神奈川大学日本常民文化研究所

〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1 TEL045-481-5661 年3500円  
1968年創刊 <http://jominken.kanagawa-u.ac.jp>

◇657 (55-9) 2022.12 A5 24p 350円

- 民具マンスリー編集室研究発表会 自治体における二次資料の保管と  
活用について―民俗資料を中心に 鈴木 通大  
賀美蚕種製造組合とラベルに関する覚書  
一埼玉県『賀美蚕種製造組合之章』について(下) 林 道義

◇658 (55-10) 2023.1 A5 24p 350円

- 石を利用する民家 津山 正幹  
三原だるまの内貼り新聞からみる製作年代 三好 周平

◆柳田学舎 鎌倉柳田学舎

〒248-0024鎌倉市稲村ヶ崎1-15-17 曾原糸子方 TEL046-724-3810

◇171 2023.1 A4 51p

- 文化功労者 野本寛一先生の講演「民俗語彙から見えるもの」と野本  
寛一著『麦の記憶―民俗学のまなざしから』(2022年刊) 曾原 糸子

「祭り」についての覚書、または里見太鼓会の活動の記録	中野 正人
「小田年譜」を読みながら(15)	飯澤 文夫
柳田国男の山人(やまひと)論の経緯	松尾 達彦
野の学びの紙碑—常民大学のひろば	
「戦争はなぜおきるの…」～1	高橋 寛治
柳田国男と中野重治(第41回地名研究者一乗谷大会研究報告)	小田 富英

◆悠久 鶴岡八幡宮悠久事務局

〒248-0005鎌倉市雪の下2-1-31 TEL0467-22-0315 1980年第二次創刊

◇165 2022.11 A5 132p 680円

《特集 やきもの信仰》

口絵 重文・陶製狛犬(瀬戸市・深川神社)

コロナ禍で学んだ人生の意義とは

廣瀬 俊朗

やきものと信仰

梶山 林継

有田焼の陶祖を祀る陶山神社

宮田 胤臣

陶祖を祀る 瀬戸・美濃地方の焼物と信仰

黒田 正直

伊勢神宮の土器

穂積 裕昌

住吉大社の埴使と土人形

小出 英詞

信楽のやきものと暮らしとまつり

矢田 直樹

神社のある陶房

小泉 蔵珍

備前焼(天神窯)を焼く神職

日幡 雄行

陶器問屋街の人々の崇敬をあつめる「器と火除けの神さん」火防・陶器神社

松本 滋

八幡宮紹介 八幡神社(広島県呉市吉浦西城町)

横田 欣子

新刊紹介 結ぶ、祈る、贈る、日本のかたち 『日本水引』長浦ちえ  
著／『新版〔日本の島ガイド〕SHIMDAS シマダス』日本離島セ  
ンター刊

◆歴研よこはま 横浜歴史研究会

〒232-0022横浜市南区高根町2-8-12-1001 木村高久方 1984年創刊

<http://www.yokoreki.com>

◇84 2022.11 B5 92p

《創立40周年記念号 躍進》

巻頭言

木村 高久

創立四十周年記念式典・祝賀会

(編・記)

創立四十周年記念・歴史講座と伝統芸能の集い

(編・記)

記念レポート 先人の叡智を継承しよう	加藤 導男
御堂家の摂関政治を支えた藤原彰子	山本 修司
中尊寺を建立した藤原清衡に学ぶ	高野 賢彦
『もうひとつの古代史』逸文(4) 復原「空白の622年」考	忌部 守
豪商を覗いてみる	瀬谷俊二郎
守成の名君忠宗の素顔	榎 良生
古代びとの犯罪被害(2)	松尾 光
古歌を訪ねて(14)ーいざ言問はむ 業平東下り	丹下 重明
一九九〇年 山寺にて	市川 康夫
東戸塚駅40年 色葉匂へど(7)	宮下 元
特集 これが横歴会員の実像 年齢構成・会員歴・男女構成・会員在住地・会員出身地／歴史に親しむようになったきっかけ、関わり、楽しみ、喜び／あなたが魅かれる時代・あなたが魅かれる歴史上の人物・あなたが魅かれる対象／横歴に対する期待・活動に対するスタンス／2062年の仲間達へ届け 2022の会員メッセージ	
	横歴四十周年記念広報部会
創立四十周年記念 春の歴史散歩 目指せ源氏山！東国から始まった	
武家政権	高尾 隆
大伯皇女 皇女たちの恋	遠田千代吉
狛犬研究 狛犬探訪	雨宮美千代
藍の世界 「ジャパン・ブルー」と「ツタンカーメンの衣装」	鈴木美恵子
間違われたわけではなかった！？－源実朝暗殺事件の真相	真野 信司
二重構造モデル説は正しいのか？	木村 高久
清少納言 VS 行成～和歌の力量	山本 修司
紙の本をタダで出す 自費出版に革命！	長田 格
異界としての京都	森 彩子
追悼の辞	
前常任理事 清水漠さんを偲ぶ	熊本 修一
上野みどりさんを偲ぶ	佐々木文江
横浜歴史研究会四十年の足跡	(編・記)
創立四十周年記念実行委員会	(編・記)
研究発表の概要(令和3年10月～令和4年9月)	高尾 隆

## 新潟県

### ◆ふるまち良寛てまり庵通信

〒951-8063新潟市中央区古町通2-538 TEL025-378-2202

<http://www.kokodo.co.jp/ryokankai/temarian/>

### ◇33 2023.1 A4 6p

「静読 良寛像」早川亜美作

新潟西海岸公園を歩く(2)

良寛百態

高橋郁丸・画

付録 良寛遺墨シート 「琴歌 みやまおろし」

解説・小島正芳

言霊 「勉哉後世子 莫自遺懼怖」

一期一会

良寛愛護会

### ◆良寛だより 全国良寛会会報

〒951-8112新潟市中央区南浜通2 北方文化博物館新潟分館内

TEL025-222-2262 1978年創刊

### ◇179 2023.1 A4 16p

リレーエッセイ 良寛つれづれ(28) 良寛さまと「春よ来い」

「良寛和尚像」安田毅彦・画

山本喜八郎

良寛遺墨鑑賞(27) 大村光枝宛て書簡「わが思ふ」

小島 正芳

「各地良寛会だより」(19) 加茂良寛会の巻

関 龍雄

良寛さん生誕地での全国大会を終えて

佐藤 亨

東京良寛会40周年記念 第45回全国良寛会東京大会(予告)

「全国良寛会東京大会」開催に向けて

石井 正一

良寛さんと須磨寺(1)

器楽堂ゆう子

須磨寺を風雅に包む良寛句

後藤田恵子

私の好きな良寛さん

草の庵に足さしのべて小山田の山田のかはづ聞くが楽しさ

佐藤 静子

良寛と子供たち

星野 淳雄

相馬御風の良寛(28)一良寛堂建立と靱彦・耐雪・御風

金子善八郎

NPO法人良寛の里活性化研究会 設立十五周年を記念しフォーラム

を開催

本間 明

「国上の良寛さん ガイドします」 燕市分水北小児童が良寛学習

吉井 清一

良寛を今に伝えた人びと(9) 隆全

本間 明

良寛 筆墨の詩歌

吉田 福恵

トピックス

再発足一周年を記念し講演会 真筆をまじかに感激	羽賀 吉昭
寺泊小学校で良寛逸話の授業	本間 明
茨城の詩人・黒羽由紀子氏 千葉でも、良寛を語る講演会	柳本 雄司
新刊紹介 『玉島の良寛事典』 森石武士著	小島 正芳
良寛を訪ねて(28) 燕市分水 解良家(下)	吉井 清一

## 富 山 県

### ◆富山史壇 越中史談会

〒930-0115富山市茶屋町33-2 富山県公文書館内 TEL.076-434-4050

1954年創刊 <https://shidankai.web.fc2.com>

◇199 2022.12 A5 86p 1300円

《プレ第200号記念特集号》

『富山史壇第二〇〇号記念特集号』の刊行に向けて

研究動向と今後の課題

富山県下の古彫刻に関する再認識抄史と課題

一昭和三十～四十年代前後の活況に注視しつつ 杉崎 貴英

近世富山売薬をめぐる諸問題から

一「松井屋書上」から見る反魂丹伝来の再検討 坂森 幹浩

飛越交流史研究の一視点―幕末期飛騨街道の災害復旧事業から 高野 靖彦

資料保存と普及活動

県立総合博物館の必要性 鈴木 景二

富山県公文書館の現状と利用促進にむけての今後の取り組み 越後 栄子

加賀藩における三州測量記録の管理と石黒家 野積 正吉

伝近藤勇着用の中冑―『国泰寺宝物什器台帳』を読む 松山 充宏

家持と越中の雪 城岡 朋洋

新刊紹介 北陸中近世移行期研究会編『地域統合の多様と複合』 高森 邦男

書評 萩原大輔著『異聞 本能寺の変―『乙夜之書物』が記す光秀の  
乱―』 亀ヶ谷憲史

令和四年度研究発表大会発表要旨

栃谷南遺跡における造瓦組織の検討 泉田 侑希

戦国期における「城」の用例―上杉家関係史料をもとに 坂田 高太

加賀前田家13代齊泰の越中巡見 吉田 航志

最近の地方史情報 高森 邦男

◆とやま民俗 富山民俗の会

〒930-0881富山市安養坊56甲-1 富山市民俗資料館内 年4000円  
1974年創刊

◇99 2023.1 A5 20p

餅・石が供えられたり奉納されたりする意味について  
富山県南砺市旧福光町の「めでた」(1)―その唄われ方について  
南砺市遊郭における火葬場、墓地の変遷  
昭和三十年代、刀利の行事食  
天野武先生の訃

米村 創  
島田 章代  
砂田登代嗣  
加藤 享子  
森 俊

◆北陸石仏の会会報

〒939-1315砺波市太田1770 尾田武雄方 TEL0763-32-2772  
年3000円 1993年創刊 <http://odatakeo.wp.xdomain.jp>

◇68 2022.12 A4 10p

理証院の石仏  
井波石工 七次郎  
芦峯寺閻魔堂前西国三十三所観音中の三面観音  
移動明王 富山県南砺市の神社の不動明王  
第63回例会報告(能登甘田の石仏めぐり)

滝本やすし  
尾田 武雄  
平井 一雄  
滝本やすし  
白江 秋広

長野県

◆飯田市歴研ニュース 飯田市歴史研究所

〒395-0803飯田市鼎下山538 TEL0265-53-4670  
<https://www.city.iida.lg.jp/soshiki/39/>

◇122 2023.2 A4 4p

新刊案内 史料で読む飯田・下伊那の歴史3『山里 南信濃のあゆみ  
とくらし』

史料紹介 向山雅重氏撮影写真にみる下栗の景観  
リレーミニエッセイ(28) ワークショップ「山里社会における生業の  
多様化と個性の時代―近世・近代の下伊那地域―」(2022年12月3日  
(土) 於上郷公民館)を開催して

福村 任生  
吉田ゆり子

◆伊那路 上伊那郷土研究会

〒399-4117駒ヶ根市赤穂11193-7 吉田保晴方 年6000円

◇791 (66-12) 2022.12 A5 40p 600円

上伊那歴史研究会実地踏査報告 下伊那地域と上伊那とのつながりを

探る—満蒙開拓平和記念館へ

実地踏査の実施に当たって 田村 栄作  
満蒙開拓平和補記念館を訪ねて 北原 克己  
一緒に満蒙開拓平和補記念館を運営してくれませんか? 塚田 博之  
戦時ポスターを後世に伝えていく意味

—「阿智村戦時中ポスター展」から 福澤 浩之

上伊那の植物(3) フユノハナワラビ(シダ植物・ハナヤスリ科) 伊藤 一幸

中央アルプス地名考(12) しらび平 吉田 保晴

宮田村の島崎藤村揮毫の西行歌碑と恩師・小田切良彦先生(1) 前沢 明夫

上伊那の道しるべ(1) 道標を兼ねた馬頭観音像 田中 清文

古文書の窓(170) 心優しい代官からの書状(3) 三浦 孝美

『伊那路』第66巻総目次 令和4(2022)年

図説・上伊那の民俗(65) 鞍掛小路庚申講(辰野町北大出鞍掛) 三石 稔

徒然さんば(41) 臨濟宗神寶山善福寺 駒ヶ根市東伊那 絵と文・吉田勝美

◇792 (67-1) 2023.1 A5 40p 600円

ごあいさつ

上伊那郷土研究会

伊那市高遠町「日本で最も美しい村」連合加盟後の動向二題

—新たな趣向のフォトコンテストと再認定審査の結果 山口 通之

宮田村の島崎藤村揮毫の西行歌碑と恩師・小田切良彦先生(2) 前沢 明夫

『鎌倉殿の13人』のころの春近(1) 宮脇 正実

西天竜小史(1) 改良区設立百年 三石 稔

古文書の窓(171) 怪談 小池 悟志

伊那谷のアカショウビン—民俗の窓を通して(44) 吉田 保晴

徒然さんば(42) 天台宗宝積山 光前寺三重塔 駒ヶ根市 絵と文・吉田勝美

◆伊那民俗 柳田国男記念伊那民俗学研究所

〒395-0034飯田市追手町2-655 飯田市美術博物館内 TEL0265-22-8118

年3000円 1990年創刊 <https://inaminkenhome.blogspot.com>

◇131 2022.12 B5 8p

表紙 銀座二丁目／初荷(飯田市銀座二丁目・竹内文隆氏提供) 近藤 大知

三河の山車祭 愛知県豊田市「拳母祭」 岡庭 圭佑

飯田下伊那の御柱祭2022(2) 近藤 大知

報告 第42回日本山岳修験学会 飯田学術大会 今井 啓

書評 故今村理則先生の三部作『伊那谷南部の民俗神と地名Ⅰ・Ⅱ』

『伊那谷南部の災害地名』 岡田 正彦

◆信濃 信濃史学会

〒399-0036松本市村井町南1-28-35 年10200円 TEL0263-58-1213

<http://www.shinano-shigakukai.jp>

◇875 (74-12) 2022.12 A5 98p 1150円

《地域特集「更級・埴科郡」》

雨宮坐日吉神社所蔵三十六歌仙奉額の奉納と伝来

一埴科郡における和歌文化の一齣

中島 丈晴

松代藩真田家の官位に関する一考察—江戸中期までを中心に

水野 聖也

千曲市一重山出土の板碑

平林 大樹

慶長一五年の松平忠輝知行改と川中島四郡

村石 正行

地域動向 長野県立歴史館古文書愛好会の活動

中村 行男

研究余滴 長野県立歴史館所蔵「平某下文」と梶原景時花押

時田 栄子

『信濃』第74巻総目次 自第74巻第1号至第12号

自令和4年(2022)1月至令和4年(2022)12月

◇876 (75-1) 2023.1 A5 100p 1150円

《民俗学特集号》

道祖神伝承における自然石道祖神

倉石 忠彦

「雪」と折り合いをつける暮らし—秋山郷歳時記

有馬絵美子

長野県における民具研究の歩みと課題—郷土誌を通じて

武井 成実

文字情報からみる民具—民具に記された文字からわかること

細井雄次郎

長野県における近世・近代の野火・火入れの記録

浦山 佳恵

◆辰野町資料 辰野町文化財保護審議会

〒399-0427上伊那郡辰野町中央1 辰野町教育委員会事務局文化係

TEL0266-41-1681 1951年創刊

◇125 2022.3 B5 149p

武井覚太郎の手帳(3)

三輪 憲昭

◇126 2022.3 B5 29p

旧朝日村の挑戦者たち

川島 周

鞍掛庚申講の休止にあたって

森下 春

◇127 2023.1 B5 30p

遺跡から見た辰野町の古代

小平 和夫

小野村の松本藩預け替え

小池 悟志

◆長野 長野郷土史研究会

〒380-0834長野市問御所町1257-1 TEL070-4026-1252 年4000円 1964年創刊

<http://www.janis.or.jp/users/kyodoshi/>

◇321 2022.12 A5 101p 1200円

口絵 初開催の御柱(上田市 山家神社)と24年ぶりの御柱(長野市  
水内神社)／表紙 山家神社(上田市真田町)の拝殿左脇に並ぶ境内  
社

長野郷土史研究会

岩井備中守信能の生年について(2)

志村 平治

小平葵翁の俳諧紀行『行興記』

矢羽 勝幸

善光寺御開帳に参詣した人々

小林 一郎

善光寺御開帳にやってきたサーカス

小林 玲子

今、改めて提唱したい、「松代大本営」でなく「長野大本営」と呼ぶ  
べきと

土屋 光男

続・伝統ある地区名を生かして運営される長野市の小学校教育

一南部11校の市立小を例に

小林竜太郎

志賀直哉『豊年虫』

栢木 希望

村上義清の話あれこれ(2)

志村 平治

出版 『令和元年10月13日 千曲川堤防決壊 令和元年東日本台風(19  
号) 長沼の災害記録』

長野県の修史事業の再開等を要請

小林 一郎

須坂市上中町法然堂「孝子善之丞感得御絵伝」修復・複製が完成

小林 玲子

水内大社の大絵馬プロジェクト発足

小林 玲子

8月の新刊 『善光寺を守る諏訪の神と御柱 付・全国各地方の御柱  
一覧』 小林一郎・小林玲子著

諏訪善光寺が、諏訪大社から移された仏像を公開

#### ◆長野県民俗の会会報

〒384-2104佐久市甲135 田澤直人方 TEL0267-88-6927 年5000円 1978年創刊

<http://nagano-minzoku.chu.jp>

◇45 2022.11 A5 116p

花暦一季節を感じる

倉石 忠彦

「呪詛と人形」の近・現代—その犯罪性を視野に

松崎 憲三

疱瘡習俗と避痘地の隔離対策—近世紀行文にみる疱瘡の事例から

板橋 春夫

自衛隊の中の民俗世界—長野県松本市 松本駐屯地を事例に

市東 真一

北海道南部地方における方言の使用と継承の一例

一罵倒語を中心として

山本 泰照

伝統行事の保存・維持

—長野県飯山市小菅祭礼行事「柱松柴燈神事」を事例として

小畑 紘一

## 事例報告

旅するお豆

下平 武

開田高原の冬一滋味豊かな温かい食べ物

藤村 勇一

### ◆長野県民俗の会通信

〒384-2104佐久市甲135 田澤直人方 TEL0267-88-6927 年5000円

<http://nagano-minzoku.chu.jp>

◇293 2023.1 B5 8p

本棟造りを見学して一第232回例会参加記

小原 稔

風景としての山岳

福澤 昭司

令和4(2022)年度総会概要報告

田澤 直人

民俗地図研究会の発足について

福澤 昭司

総会に参加して

木下 守

## 静岡県

### ◆静岡県近代史研究会会報

〒422-8526静岡市駿河区谷田52-1 静岡県立大学国際関係学部 森山優研究室

年4000円 <https://shizuokakenkindaishi.wordpress.com>

◇531 2022.12 A4 4p

12月例会レジュメ

大正期の第二次盲啞教育令制定運動と盲人の組織化

足立洋一郎

黒澤酉藏保管分の田中正造資料(酪農学園大学公開)について

河井重蔵／弥八研究会 清水実

「映画で知ろう! 移民・難民」シリーズについて

森山 優

◇532 2023.1 A4 4p

1月例会レジュメ ミニシンポジウム「金原明善研究のこれまでとこ

れから」

文責・伴野文亮

旧幕府軍として箱館戦争に参加した駿遠豆の庶民出身者

樋口 雄彦

川は流れるか

羽間 昭夫

◇533 2023.2 A4 4p

2月例会レジュメ

静岡市歴史博物館の見学と博物館のあり方について

青木 祐一

金原家異聞(1)

小池 善之

「原口清先生記念研究奨励制度」を開設します!

会に届いた本

文責・森山 優

◆静岡県地域史研究会報

〒412-0043御殿場市新橋1891-1 厚地淳司気付 年4000円 2011年創刊

◇246 2023.1 B5 4p

家康の相婿牟礼郷右衛門

小林輝久彦

10月例会報告要旨

遠江国原田・村櫛荘の半済と半済給人

佐藤 公彦

11月例会報告要旨

書評 小田原近世史研究会編『近世地域史研究の模索』

松本 和明

◆静岡県民俗学会会報

〒424-0053静岡市清水区渋川1-9-35 <http://web.thn.jp/s-folklore/>

◇186 2023.2 A4 8p

富士宮市域の小正月行事にみる民俗文化

松田香代子

石川純一郎氏を偲んで

中村羊一郎

石川純一郎先生を追悼する

一偉大な民俗学者の後に確固たる民俗が残される

中山 正典

静岡の民俗語彙・方言短信

ナキットブライ

報告者・松田香代子

ハナツカケ

報告者・外立ますみ

愛知県

◆あつた 熱田神宮宮庁

〒456-8585名古屋市熱田区神宮1-1-1 Tel052-671-4151

<https://www.atsutajingu.or.jp>

◇277 2023.1 A5 44p

年頭のご挨拶

千秋 季頼

神宮大麻全国頒布一五十周年にあたり一神宮大麻奉斎の意義について

小針 孝裕

安全・安心な正参道の修景・剪定整備の考え方(3)

原野 幹義

熱田社を廻った堀「本宮御溝」の復元

細谷 公大

熱田神宮御礼遇に関する一考察(2)

飛岡 秀樹

◆蓬 左 名古屋市蓬左文庫

〒461-0023名古屋市東区徳川町1001 Tel052-935-2173 1980年創刊

<http://housa.city.nagoya.jp>

◇104 2023.1 A4 8p

令和四年度蓬左文庫講演会 蓬左文庫の六国史

—徳川義直の学問の志向性	吉田 一彦
尾張の筆まめの日記伝(第四回) 鸚鵡籠中記と千代倉日記(補遺)	井上 善博
表紙 63-46 銅人腧穴鍼灸図経 3巻10帖 正統8年(1443)序	
17世紀 35.8cm×22.0cm	星子 桃子
蓬左通信	星子 桃子

◆まつり通信 まつり同好会

〒458-0006名古屋市区緑区細口3-161 田中青樹方 TEL052-877-3497 年5000円

1961年創刊 <http://www.wa.commufa.jp/matsuri/>

◇623 (63-1) 2023.1 A4 8p 600円

表紙写真の言葉 毛越寺の延年 岩手県平泉町 1月20日夜	坂本 要
南西諸島の輪踊り(サークルダンシング)(5)一沖繩本島その2	坂本 要
「尾張西部の子供ザイレン」の危機一津島市下新田の現在	鬼頭 慈都
新代表挨拶	坂本 要
新刊紹介	
名古屋の山車行事総合調査 鳴海・有松の山車行事調査報告書	

## 滋 賀 県

◆湖国と文化 びわ湖芸術文化財団

〒520-0806大津市打出浜15-1 TEL077-523-7146 年2520円 1977年創刊

<https://www.biwako-arts.or.jp>

◇182 (47-1) 2023.1 B5 88p 600円

《特集 近江と芸能～忘れられた人々》

プロローグ

三井寺別所の世界—日本文化のかくれたスタイル	福家 俊彦
小栗判官 照手姫の道行—『新訳 説経節』より	伊藤比呂美
わたしの説経節	伊藤比呂美
能「蟬丸」「関町小町」と逢坂関	井上由理子
近江猿楽—その軌跡と残影	植木 行宣
赤鶴・愛智打から井関家—中世・近江の仮面と面打ち	高梨 純次
関蟬丸神社下社復興に向けた軌跡	川戸 良幸
カラーグラビア	
さよなら大トンポー琵琶湖文化館	編 集 室

琵琶湖センス・オブ・ワンダー 湖と人とが織りなす歴史と今(8)

寒鮒で挑戦!?持続するフナズシ

文・琵琶湖博物館 橋本道範／写真・オザキマサキ

祭の美 祈りのかたち(16) 同じ供物、同じ作法

子らも独自に祈り継ぐ(山の神祭=日野町小野) 写真・文 川島朱実

万葉の旅人(15) なかなか君に恋ひずは比良の浦の海人ならまし

を玉藻刈りつつ(巻一一—2743 作者不明) 文と曲・林博通／画・鈴木靖将

インタビュー 湖と生きる ヨシ葺き職人 真田陽子さん

文・三宅貴子／写真・野中村憲一

グラビア 湖国のつなぎて—地域おこし協力隊探訪記(3) 福島高仁

さん(甲賀市) 忍術書発見!リアルな甲賀忍者を研究 文・写真 船橋 桜

歴史の玉手箱(26) 明治期のコレラ対策

緊急対策から火葬・検疫・予防普及へ

県立公文書館 岡本和己

近江の懐(ふところ)(23) 小野

長老「十二人衆」の染づくり、染祭と日まつり 現代の祭り 加藤 賢治

小野の自転車処 石川 亮

ぶらり近江はっけん伝(23) 石田町 岸野 洋

トムさんの日野暮らし(10) もうひとつの未来 トム・ヴィンセント

近江の黎明 相谷熊原遺跡から探る縄文の世界(7)

相谷熊原遺跡から探る縄文の世界 松室 孝樹

湖国と文化・地域記者レポート 北から南から

セタジミ漁で湖と親子の思いつなく 大塚佐緒里

未来をつなぐ笑顔の食卓 長澤由香里

新たにウサギの「家守り」(卯年ゆかりの三尾神社) 町田 雅子

今来の才伎③ 永源寺の豆腐店店主 大和田賢二さん 野田 太郎

◆戦国史と人 女風林火山 戦国史と人を学ぶ会／武田勝頼・松姫探究会

〒520-0528大津市和辻高城289-11 首藤義之方 年1400円 1987年創刊

◇70 2023.1 B5 82p

春日局(福)は斎藤利三の娘ではない

—佐々木箕作義弼の娘説

首藤義之／福住明子

コラム

伝・天海僧正所用の甲冑の実見記 編集室

滋賀県草津市の銘菓「姥が餅」伝説の謎と春日局 編集室

## 京 都 府

### ◆京都民俗 京都民俗学談話会

〒603-8301京都市北区紫野北花ノ坊町96 仏教大学歴史学部 八木透研究室  
 気付 TEL075-491-2141 年4000円 1984年創刊

◇40 2022.11 A5 165p

- |                                |       |
|--------------------------------|-------|
| 伊勢大神楽の支配頭と太夫組織                 | 黛 友明  |
| 若狭地方の小正月行事の研究—戸祝い行事を中心に        | 岡本 潔和 |
| 上御霊神社相殿に祀られた怨霊                 |       |
| —十九世紀における皇位継承問題をめぐる御霊信仰の展開     | 佐藤 一希 |
| 愛知川扇状地河畔における「野」の活用の変遷と「野神」の変容  | 八木 牧人 |
| 大和盆地における葬送・墓制上の鳥居              | 橋本 拓也 |
| 大津祭石橋山水引幕制作にかかる中島来章書簡          | 柿本 雅美 |
| やさぐれて民俗学を批判していた私が『民俗学入門』を書くまで  | 菊池 暁  |
| 書 評                            |       |
| 松岡薫著『俄を演じる人々—娯楽と即興の民俗芸能』       | 荒木 真歩 |
| 金田久璋編『若狭あどうがたり集成—昔話・伝説・語り部』若狭路 |       |
| 文化叢書第一七集                       | 市川 秀之 |
| 新刊紹介 御坊市教育委員会編『御坊祭総合調査報告書』     | 長谷川嘉和 |
| 研究会報告 2021年12月～2022年10月        |       |

### ◆芸能史研究 芸能史研究会

〒602-0855京都市上京区河原町荒神口下ル上生洲町221 キトウビル303 TEL075-  
 251-2371 年6000円 1963年創刊 <http://www.5b.biglobe.ne.jp/~geinoshi/>

◇239 2022.10 B5 49p 1800円

- |                                |       |
|--------------------------------|-------|
| 豊公能〈吉野詣〉の間狂言                   | 富山 隆広 |
| 吉祥院天満宮の説教取締一件—一九世紀芸能者支配の一側面    | 村上 紀夫 |
| 資料紹介 天満定専坊蔵『三番定専坊世系』           | 岡田 登貴 |
| 書評 玉村恭著『おのずから出で来る能—世阿弥の能楽論、または |       |
| 「成就」の詩学—』                      | 大山 範子 |
| 紹 介                            |       |
| 甲南女子学園創立百周年記念『上方浮世絵名品展』        | (s・k) |
| 池田晶『近世中後期の日吉社神事能番組』            | (玉)   |
| 藤田隆則編 京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター研究報告 |       |
| 14『能〈羽衣〉を解剖する—音曲面を中心に』         | (紅猫)  |
| 例会発表要旨                         |       |

中世、対馬の神楽—朝鮮半島との交流・戦闘と命婦と法者

2022年7月例会

松尾 恒一

近衛家熙の茶会の掛物と表具 要旨 2022年8月例会

丹羽 秋子

◆史迹と美術 史迹美術同友会

〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入西大路町146 中西ビル内

TEL075-462-4292 年8000円 1930年創刊 <https://www.shibikai1930.com>

◇930 (92-10) 2022.12 A5 36p 918円

赤膚錦山銘花器をめぐって(1)

村上 泰昭

九州の石塔調査報告 9. 浄水寺跡石燈籠

佐藤 誠

画論研究(3) 『画筌』の研究—現代語訳付(7)

寺本 健三

第1100回例会 京都駅周辺から西本願寺周辺に重層化する「史跡」

を歩く 萬願寺から多田神社を歩いて訪ねる

丸山 貞

第92輯(921~930号)総合目録

◇931 (93-1) 2023.1 A5 32p 918円

日本庭園・石造美術あれこれ(10)

伊豆国で製作された五台山竹林寺文殊堂前の石燈籠

尼崎 博正

赤膚錦山銘花器をめぐって(2)

村上 泰昭

第1101回例会 長浜市周辺の文化財を訪ねる

吉村 龍二

◆史 林 史学研究会

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院文学研究科内

TEL075-753-2787 <http://www.shigakukenyukai.jp>

◇105-5 2022.9 A5 70p 1200円

中国で発見された景初三年鏡

岡村 秀典

◆都藝泥布 京都地名研究会通信

〒610-1126京都市西京区大原野上里男鹿町14-5 入江成治方 FAX075-331-3431

年3000円 2002年創刊 <https://kyotochimei.wixsite.com/kyotochimei>

◇79 2022.12 A4 8p

第59回地名フォーラム

研究発表 平安京北郊「桃園」をめぐって一行成の世尊寺供養の頃

まで 発表者・笹川博司氏

記・中島 正

講演 京都の天皇陵と地名 講演者・山田邦和氏

記・中島 正

地名随想

最終回 小野小町伝承と地名

群馬県富岡市後賀(旧北甘楽郡小野村後賀)の小町伝承	明川 忠夫
平安京を偲ぶ町名(4) 染殿町(そめどのちょう)	清水 弘
芭蕉の発句と地名(1)	小寺 慶昭
「青谷」地名考—城陽市南端の旧村名(1)	岩田 貢

◆やましろ 城南郷土史研究会

〒619-0211木津川市鹿背山大木谷47-2 田辺英夫方 年2000円 1953年創刊

◇34 2022.11 B5 104p 1200円

地方史研究協議会「児玉幸多記念賞」中津川敬朗 本会代表が受賞  
 受賞者紹介 小林 丈広  
 児玉賞を受賞して 中津川敬朗

宇治火薬庫・火薬製造所の設立とその活動  
 一戦争遺跡の保存・研究・学習の活動について 磯崎 三郎  
 昭和二十年七月二十四日 宇治空襲について 仁張 真人  
 追悼 黒川直則先生の思い出 玉城 玲子

木津川市上粕出身 不屈のジャーナリスト・柳沢恭雄とその人生(下の4)  
 ジャーナリスト人生の総括と日本電波ニュース社による報道の自由  
 の獲得 赤塚 康雄  
 南山城地域の仏像 参考文献集成 十五～十六世紀の仏像 八田 達男

大 阪 府

◆泉佐野の歴史と今を知る会会報

〒596-0845岸和田市阿間河滝1425 井田寿邦方 TEL0724-28-0204 年1200円

◇420 2022.12 B5 10p

立石垂顚念典が生きた時代と人々(13)  
 第五章 立石家譜を読む(続) 五、垂顚念典の壮年時代 立石 元  
 史料紹介 山本家文書 明治37年の家督相続(後) 井田 寿邦  
 史料紹介 泉州の寺社(19) 藤田家文書 九社明神之定式(4)

◇421 2023.1 B5 14p

戦略的観点からみた「古城」の立地—佐野城比定地の景観復元 西村 歩  
 里江浮丘と岡田半江—その書簡から(2)—「李蓬」の作品とは?  
 里江浮丘から盛田昭夫へ(1) よねかずゆうたろう  
 史料紹介 泉州の寺社(20) 佐野村九社関係文書 藤田家文書 泉州  
 井原庄佐野惣産社(2) 享保十二(一七二七)年十一月

◆大阪歴史懇談会会報

〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2 アンティークショップ一兵内 TEL06-6931-1081 年5000円 1984年創刊 <http://osakarekikon.cocolog-nifty.com>

◇457 (39-11) 2022.11 B5 8p

巻頭言 神のおやしろのこと(77) 大鳥神社(大鳥大社)(2) 和久 敦也  
令和4年10月例会報告(第419回) 『幕末期武士の生活』一熊本藩における平士について 大阪歴史懇談会理事 寺井正文氏 (報告・寺井)  
会員の書評 『日本建築史講義 木造建築がひもとく技術と社会』 (海野聡 学芸出版社) 評者・和久敦也

ブック・インフォメーション 特集・歴史図書案内 『文明開化に馬券は舞う』一日本競馬の誕生・競馬の社会史 立川健治、『競馬の世界史』一サラブレッド誕生から21世紀の凱旋門賞まで(中公新書) 本村凌二、『近代日本の競馬』一大衆娯楽への道一 杉本竜

◇458 (39-12) 2022.12 B5 8p

巻頭言 神のおやしろのこと(78) 方違神社 和久 敦也  
令和4年11月例会報告(第420回) 『田村家二十三代 七百年』一田村麻呂伝承をもつ隠者の末裔一 大阪歴史懇談会相談役 田村紘一氏 (報告・朝山)  
令和4年秋の見学会 『ちょっと変わった遠足気分では奈良を歩こう』 案内人(見学部会) 和久敦也氏 (報告・和久)

◆大阪民衆史研究 大阪民衆史研究会

〒599-0223阪南市光陽台4-5-25 林耕二気付 TEL072-471-8601 1993年創刊  
<http://www.ac.cyberhome.ne.jp/~minshusi/>

◇75 2023.1 A5 113p 1000円

創立一〇〇周年にあたって 全国水平社に関する五つの断章 尾川 昌法  
神戸における大逆事件と現代 上山 慧  
続・スペイン風邪流行と大阪、「杉村久子日記」から 石原 佳子  
シンポジウム「淡路島の『自由民権』と明治憲法批判一島田邦二郎『立憲政体改革之急務』」 編集部  
シンポジウム「淡路島の『自由民権』と明治憲法批判一島田邦二郎『立憲政体改革之急務』」 報告1 島田耕さん「島田邦二郎と私」／報告2 竹田芳則さん「島田邦二郎の自由民権思想の背景を探る」／報告3 高島千代さん「『立憲政体改革之急務』は何を語っているか」／報告4 新井勝紘さん「淡路島の自由民権」と明治政府批判一島田邦二郎と『立憲政体之急務』一「自由民権期の憲法構想にみる権利意識一山村と島から撃つもの一」／報告5 福井淳さん「都市

民権結社の憲法構想」 「嚶鳴社憲法草案」  
アメリカは如何にして無差別爆撃を計画、実行したかーB29搭乗員ハ  
リー・ミッチェル氏の2つのミッション(1945~1995年) 林 耕二  
自由民権「大阪事件」四人の犠牲者と慰霊碑をめぐって 竹田 芳則  
グラビア(裏表紙) フィールドワーク「武庫川溪谷廃線跡を歩く」  
案内・山内英正さん 文 竹田芳則/写真 竹田芳則・高谷均

◆かいつか文化財だより テンブス 貝塚市教育委員会

〒597-8585貝塚市島中1-17-1 TEL072-433-7126 1996年創刊

◇78 2022.11 A4 8p

表紙 根福寺城跡周辺〈国土地理院航空写真(1975年撮影)〉に縄張り  
図を重ねたもの

根福寺城跡の調査(2)

孝恩寺の仏像 菩薩(8) 十一面観音菩薩(伝勢至菩薩)

東京2020オリンピック聖火リレーの関連資料

ー貝塚市歴史展示館の展示資料から(7)

大北太鼓台の龍の彫物ー貝塚市郷土資料展示室の展示資料から

古文書講座ー市内に残る身近な古文書 永寿池の普請と水論/小学校

巡回展示「岩橋善兵衛の科学技術」

◆近畿文化 近畿文化会

〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13 上本町YUFURA 7階

TEL06-6775-3686 年2200円 <https://www.kintetsu-g-hd.co.jp/culture/bunka/>

◇878 2023.1 A4 8p 300円

五條市・近内古墳群探訪記

泉森 皎

「和歌山」のルーツをたどるー和歌山城と和歌浦

新谷 和之

◇879 2023.2 A4 10p 300円

黄檗山萬福寺の文化財ー萬福寺と塔頭宝蔵院の仏像を中心に

神田 雅章

世界遺産としての古市古墳群の価値(2)ー古墳群の始まりと終わり

森本 徹

◆左海民俗 堺民俗会

〒593-8302堺市西区北条町2丁10-11 佐原浩二方 TEL072-275-8588 年3000円

<https://ameblo.jp/skmz2014>

◇170 2022.12 B5 10p

木地師のふるさと 木地師祖神・惟喬親王/筒井八幡神社と木地師資

料館/君ヶ畑・君空工房/惟喬親王御陵

下谷 佐吉

堺の町のなりたち(4) 五箇荘	川村 淳二
空想的社会主義者の回想	生駒 道弘
追 悼	
下谷佐吉さんの思い出	佐原 浩二
下谷佐吉さんの思い出	一色 若夫
下谷さんの急逝を悼む	生駒 道弘
下谷佐吉さんのこと、そして感謝	森井 淳吉
8月総会報告 第76回堺民俗会総会／2022年度 堺民俗会行事計画	
4月臨時例会報告 聖徳太子1400年御聖忌法要参加	山内啓子／許和平
5月例会報告 佐紀盾列古墳群と秋篠寺を訪ねる	佐原 浩二
6月例会報告 芥川城址と撰津峡を歩く	光田 三生
7月例会報告 鞍馬寺・貴船神社散策	米道 綱夫
9月例会報告 高畑町散策	佐原 浩二
10月例会報告 ハニワ工場公園から今城塚古墳探訪	一色 若夫

◆城だより 日本古城友の会

〒577-0044大阪市西成区玉出中2-11-28 平川大輔方 TEL06-6652-4511

<http://www.kojyo-tomonokai.com>

◇648 2022.12 B5 24p

日本古城友の会 総会・新年互礼会の御案内(1月・第711回例会)／

2月・第712回例会の御案内 大和 豊田城・筒井城

11月・第709回例会報告

丹波八上城 担当幹事：小川実・下岡力 報告・下岡 力  
茨城県の小田城を訪ねて 坂本 昇

別冊(B4 5頁) 第710回例会 近江田中城・大溝城を訪ねる 案内

講師：中井均先生(滋賀県立大学名誉教授) 担当幹事：中西徹・平川大輔

◇649 2023.1 B5 22p

日本古城友の会総会 令和4年度の例会(概要報告)／2月 大和豊田城・筒井城を訪ねる(第712回例会)(総会提出原案)

12月第710回例会報告 近江田中城・大溝城 案内講師：中井均先生

担当幹事：中西徹・平川大輔 報告・中西 徹  
比企城館跡群の杉山城跡と菅谷館跡を訪ねて 宮島 茂

別冊(B4 3頁) 第711回 中央区史跡めぐり 案内：藤岡秀典

◆つどい 豊中歴史同好会

〒560-0054豊中市桜の町4-6-27-208 小川滋方 月1000円

1988年創刊 <http://toyoreki.way-nifty.com>

◇411 2023.1 B5 20p

表紙 子持勾玉 狐井稲荷古墳と狐井城山古墳採集品 (写真は香芝市  
教育委員会所蔵・提供)

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

小川 滋

大確命と美濃一記紀伝承の信憑性をめぐって(下)

荊木 美行

巻頭の「子持勾玉」写真について

小川 滋

兵庫 県

◆地域史研究 尼崎市立歴史博物館紀要

〒660-0825尼崎市南城内10-2 尼崎市立歴史博物館 地域研究史料室(あまがさ  
きアーカイブズ) TEL06-6482-5246 1971年創刊

<http://www.archives.city.amagasaki.hyogo.jp/museum/>

◇122 2022.12 A5 141p

《特集 ダンスホールのまち尼崎》

グラビア 尼崎市立歴史博物館第7回企画展「ダンスホールのまち尼  
崎」主な展示資料から

特集 ダンスホールのまち尼崎

尼崎のダンスホールー国道沿いの花園

永井 良和

尼崎のダンスホール建築

西村 豪

父・祖父の足跡を辿る旅ーなぜ祖父はダンスパレスを経営したのか

加藤のり子／石田美奈子／記録・桃谷和則

史料紹介 尼崎藩大坂留守居の一件記録

中村 光夫

史料編 尼崎の古代・中世ー史料と研究(9)

尼崎市史古代・中世史料補遺(9)

尼崎市立歴史博物館地域研究史料室

史料紹介 尼崎市役所『最近四年間ノ事績 附将来ノ諸問題』一九二

八年(昭和三)ー(後半)

森本 米紀

あまおぶね(6) 上食満のダイジョーゴさん

田中 敦

◆西宮文化協会会報

〒662-0974西宮市社家町1-17 西宮神社内 TEL0798-33-0321

<http://nishinomiya-ebisu.com/bunkyo/>

◇657 2022.12 B5 8p

- 一月行事 西宮神社境内末社 百太夫神社祭 参列  
 軸と語ろう「泥龍窟・井澤寛州老子」海清寺 堀内 陽光  
 浮世絵版画—西宮の風景あれこれ(12)  
 西宮市甕岩町 越木岩神社 元日(完成2017.2.23) 布広 良雄  
 西宮文化協会十月行事 舞台装置家・手書き文字作家 竹内志朗七十  
 年の軌跡 江寄健一郎  
 西宮の万葉風景だより(5) 万葉の月 岡本三千代  
 会員活動報告 令和四年度・えびす信仰関連重点取組事項 中村宏/山本純子  
 ◇658 2023.1 B5 8p
- 二月行事 文化講演会「西宮の自然の中で出会った草花や樹木の紹介」  
 西宮自然保護協会会長 能登康夫氏  
 鳴尾八幡神社 復興への軌跡—西宮神社・ボランティアさんと共に 梅本 信二  
 西宮の橋梁—西宮歴史調査団の調査成果(1) 早栗佐知子  
 十一月行事 秋の見学会 西宮市大谷記念美術館特別展  
 「BACK TO 1972—50年前の現代美術へ」 江寄健一郎  
 会員活動報告 Spring Fes in ASAGO 中村宏/山本純子  
 ◇659 2023.2 B5 8p
- 三月行事  
 春の見学会 兵庫県立兵庫津ミュージアムと周辺の史跡を訪ねて  
 辰馬本家酒造旧本蔵絵図の発見と「変化する酒造建築」展 大浦 和也  
 西宮の橋梁—西宮歴史調査団の調査成果(2) 橋の名前(1) 早栗佐知子  
 不定期連載エッセイ〈若造の頭ン中〉  
 『蛇口をひねるに頭を捻る』—シングルレバー混合栓の功罪、他 小野 篁  
 十二月行事 白鹿記念酒造博物館 展示見学 事務局  
 会員活動報告 『桧原桜賞』(短歌・題詠桜)で全国入選 中村 宏

#### ◆ヒストリア 大阪歴史学会

〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1 神戸大学大学院人文学研究科  
 古市晃研究室気付 1951年創刊 <http://www.historia-osaka.on.arena.ne.jp>

◇295 2022.12 A5 229p 1800円

《2022年度大会特集号》

部会報告 考古

前方後円墳設計技術の流通構造 柴原聡一郎

佐紀古墳群の倭国王墓と類型墳の複製 岸本 直文

討論記録集

部会報告 古代 賀茂斎院制度の成立 笹田 遥子

部会報告 中世

中世後期における地方寺院の寺領と経済構造

—摂津国勝尾寺を事例に

小野塚航一

小野塚報告コメント—中世後期地方寺院史の展望

大田壮一郎

部会報告 近世

近世幕府海運体制の特質と諸問題—城米輸送を対象として

糸川 風太

近世中後期在郷町運営における金融と領主財政

—摂津国川辺郡伊丹郷町を事例に

加藤 明恵

部会報告 近代

近代移行期における水利秩序と地方行財政—旧加賀藩領を事例に

濱田 恭幸

褒賞条例と地域社会における「名望」の形成

袁 甲幸

◆歴史と神戸 神戸史学会

〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4 田中印刷出版内 TEL078-871-0551

年3000円 1962年創刊

◇355 (61-6) 2022.12 A5 53p 600円

《特集 史料が語るひょうご近世史断片》

ひょうご史こぼれ話 笠形山について—絵はがきの「真見山」の山名

柴田 昭彦

朝日に向かって出勤し夕陽に向かって帰宅する

—塚口と武庫之荘、阪急沿線の住宅地

辻川 敦

六甲開祖之碑の謎

前田 康男

寺に対する鉄砲改めについて—丹波円通寺ふすま下張り文書より

山内 順子

『草稿抄』『入讀記』から 故郷に遊ぶ山片蟠桃

歌井 昭夫

加西の文化人児島尚善の子孫について

—十河家文書と「種痘済証」から

三枝 正平

神戸史学会が奨励賞創設 年間の最優秀作品を選考、会員も参加可能

新聞地域版を読む 神戸新聞の文化財記事(2015年1月5日～2月11日)

大国正美／有吉康徳

奈良県

◆大美和 大神神社

〒633-8538桜井市三輪 TEL0744-42-6633 <http://www.oomiwa.or.jp>

◇144 2023.1 B5 68p

年頭ご挨拶

鈴木 寛治

『古事記』の葦原中国と出雲—大物主神の出現以前	菅野 雅雄
垂仁天皇の陵墓伝承	荊木 美行
三輪山セミナー講演録 三輪の磐井について	鈴木 景二
「第十九回三輪山まほろば短歌賞」開催／献詠祭 特別献詠・入選歌	
三輪山信仰と古代王朝の祭祀	米川 仁一

## 和歌山県

### ◆紀伊考古学研究 紀伊考古学研究会

〒642-0014海南市小野田1221-1 前田敬彦方 1998年創刊

◇25 2022.8 B5 87p 2000円

〈特集 紀伊の戦前・戦後の考古学〉

紀伊の戦前・戦後の考古学	中村 貞史
和歌山市における小林国太郎氏の考古学活動について	前田 敬彦
地ノ島遺跡における発掘調査と製塩土器	中西 瑠花
浦宏氏が残した陵山古墳の調査記録	仲辻 慧大
和歌山県多田大池遺跡採集のチャート形石器	
—瀬戸内系サヌカイト石器文化圏内のチャート製石器群	中原 正光
和歌山県日高郡みなべ町城山古墳群の研究	
—紀中における前・中期古墳の再検討	田中元浩／岩井顕彦
紀伊北部地域における搬入中世石塔の一樣相	
—和歌山市木ノ本Ⅲ遺跡出土の凝灰岩製石塔の検討	北野 隆亮
和歌山市所在の千石山3号墳について—河内野帳からの遺跡紹介	河内 一浩
和歌山県古座川町川口城跡周辺の中世考古資料	阪本敏行／佐藤純一
和歌山県の考古学関係文献目録(2021年)	事務局(担当・仲辻慧大)

### ◆熊野 紀南文化財研究会

〒646-0051田辺市稲成町392 高山寺 曾我部大剛方 TEL0739-22-0274  
年3000円 1969年創刊

◇163 2022.11 A5 50p

安宅荘の城館と地域社会(1) 白浜町田野井周辺	白石 博則
中世の白居易の詩の受容と空海と逸勢	
—中世の熊野信仰の正体に関する仮説7	藪 虫
郷土関係新刊紹介 熊野研究 第一六号／紀伊半島大荒れ 大地の成り立ちからみた豪雨災害／歴史遺産が地方を拓く／紀伊半島の文化財／紀伊半島の創生	

◆和歌山地方史研究 和歌山地方史研究会

〒649-6258岩出市山980-2-1312 江本英雄方 年3000円 1980年創刊

<http://wakayamachihoushi.blog.fc2.com>

◇84 2022.12 A5 58p

小特集1 文理融合型の城郭研究の試み—薬用植物の分布に着目して  
特集にあたって

中世軍事勢力に着目した和歌山県におけるテンナンショウ属植物の

分布

種坂 英次

中世城郭と植生・薬種

新谷 和之

小特集2 中世那智色川の新資料—考古・古文書・仏像

特集にあたって

熊野水軍色川氏関連の中世考古資料

—那智勝浦町大野出土の中国製青磁碗と山茶碗

北野隆亮／佐藤純

戦国・織豊期の熊野の武士に関する新史料—新出色川文書の紹介

附・堀内氏善書状

坂本 亮太

熊野本宮護摩堂本尊不動明王図像の伝播

—色川郷清水家伝来不動明王坐像の紹介から

大河内智之

堀端養恒の生涯と関係資料

高野 達二

2022年度和歌山県内展覧会情報(追録)

島根県

◆大社の史話 大社史話会

〒699-0751出雲市大社町杵築西2695-1 稲根克也方 TEL0853-53-4966

年2500円 1974年創刊

◇213 2023.1 B5 38p

特別寄稿 幽明かわらず

千家 統子

大社町のブドウ畑から～多文化共生へのヒントを探して

岩成 俊策

中学生出雲弁川柳

出雲市立大社中学校

大社町の町内巡り(10) 日御碕 日御碕地名考

吉田 明弘

紙上「古文書講座」基礎編(3)

出雲市文化財課

読者コーナー

読後感

土方 幸子

昔懐かしい話 戦争中の登下校

吉田 安子

ギャラリー展Ⅱ いにしえのボードゲーム—双六・樗蒲・囲碁・将棋

出雲弥生の森博物館(文責・高橋周)

出雲地域の歴史と文化(21)

- 大社造系本殿の形式と出雲地方における分布(1) 野坂 俊之  
コラム 戦国期杵築の参詣宿をめぐるトラブル  
—参詣宿(御供宿)が果たした役割 山崎 裕二  
令和4(2022)年7月～9月 出雲市大社町年表 編集部

岡山県

◆岡山地方史研究 岡山地方史研究会

〒700-0013岡山市北区伊福町2-16-9 ノートルダム清心女子大学文学部  
久野研究室気付・小野功裕 TEL086-252-2482 年1500円 1986年創刊  
<http://historyokayama.s1009.xrea.com>

◇158 2022.12 B5 34p

- 改易された松平光長の「復活」—津山松平藩の創設顛末 妻鹿 淳子  
2022年4月例会 特別企画「博物館の仕事—役割と現状—」(1) 小さな世界から問う特殊と普遍—真庭市蒜山郷土博物館と地域社会 前原 茂雄  
岡山地方史研究会四月例会「博物館の仕事—役割と現状—」に参加して 川邊あさひ  
読書日記 小田中直樹『歴史学のトリセツ』 上村 和史

◆岡山民俗 岡山民俗学会

〒700-0089岡山市北区津島本町16-5-3 小嶋博巳方 年4000円  
1949年創刊 <http://okayamaminzokugakkai.web.fc2.com>

◇243 2022.12 B5 80p

- 備讃民俗雑記 水野 一典  
「火の釜」—横穴式石室と火雨塚伝説 岡本泰典／日下隆春  
レンゲ考—岡山県北地域における麦作儀礼 大倉 寿仁  
岡山市東区目黒町の祇園祭り 安倉 清博  
小久保桃江と桃太郎研究  
—「桃太郎主義幸福論」と大日本桃太郎少年団の活動を中心に 加原奈穂子  
新庄村の民俗聞き書き—葬制・年中行事 編・小嶋博巳

◆きび野 岡山県郷土文化財団

〒700-0822岡山市北区表町1-7-15 702号 TEL086-233-2505  
<http://www.o-bunka.or.jp>

◇167 2023.1 A5 14p

年頭にあたって	石井 清裕
随想 鳥城彫 創業百周年を迎えるにあたり(前編)	スミス昭子
岡山の人物 郭沫若	万城 あき
岡山の自然 佐波良・刑部の大杉	美甘 彰
岡山の文化財 静円寺 多宝塔	江口 直輝
わが町・わが村の自慢 K's LABO(笠岡市北木島)	
ふるさとの思い出 鉄道開業百五十年によせて(津山市)	小西 伸彦
会員だより 絵画「河畔の木立」について	樋口 福松

## 広島県

### ◆備陽史探訪 備陽史探訪の会

〒720-0824福山市多治米町5-19-8 TEL084-953-6157 <http://bingo-history.net>

◇227 2023.1 A4 20p

福山市加茂町百谷所在 房丸神社の棟札	田口 義之
中世石造物の調査報告	文責・篠原芳秀
ワンショット・レポートー福山城散策デジタルスタンプラリー	
福山城北東防御について考える Iー勝成は何を考えていたのか	瀬良 泰三
神辺城跡について	杉本 憲宏
ワンショット・レポートーぶら探訪・蔵王を歩く Part2	
近世福山の歴史講座(43) 第八部 水野時代総集編 三代勝貞の時代	高木 康彦
史料紹介 井上家文書(5)「乍恐以書付奉願上候御事」	文責・小林悠一
ワンショット・レポートーぶら探訪・戸手に庄屋・信岡平六と巡見使 の足跡をたどる	
弘道館と誠之館	種本 実
水野太郎作について	嶋田 浩二

### ◆みよし地方史 三次地方史研究会

〒729-4304三次市三良坂町三良坂2747 中畑和彦方 TEL0824-44-2753

1987年創刊

◇119 2022.12 A4 16p

史料紹介 三次藩時代の地平(じならし)帳について	立畑 春夫
三次盆地の前方後円墳(25) 寺山北第一・第二号古墳一調査報告	加藤 光臣
杉本好伸さんの「河野駒一氏と『稻生物怪録』」(前号)を読んで	伊藤 実
狂歌で綴る旅行記 『都の道の記』(天保十一年十一月)(下)	中畑 和彦

三次地方の石造物 廻国供養塔(三次市三良坂町十王堂)

中畑 和彦

◆わが町三原 みはら歴史と観光の会

〒723-0051三原市宮浦6-9-32 鈴木方 年3600円 FAX0848-63-9932

◇382 2023.1 B5 12p

新年の挨拶

上田 嘉信

彼我共同のバス研修旅行

鈴木 健次

新居浜を訪ねて

川上 哲司

関学 山口ゼミご一行 案内記

西村 雅幸

◇383 2023.2 B5 12p

今月の各地 歴史

大坪 一夫

令和4年度市郷連歴史講演会記録 小早川隆景と乃美宗勝—その2(1)

秋山 伸隆

本町いろは歴史講座 「西国街道2 前刷り」(1)

橋本 敬一

別冊(A4 10頁) 小早川隆景と乃美宗勝—その2(レジュメ)

## 徳島県

◆徳島県立博物館ニュース

〒770-8070徳島市八万町向寺山 徳島県文化の森総合公園 TEL088-668-3636

1990年創刊 <https://museum.bunmori.tokushima.jp>

◇129 2022.12 A4 8p

幻の半田漆器 半田塗八十物(向かって左より飯椀、平椀、壺椀、木

皿、汁椀、猪口)

大橋 俊雄

Culture Club

なぜ那賀町木頭地区だけに太布の製造技術が残ったのか

磯本 宏紀

歴史・文化コレクション 半田 敷地屋本家大久保家の漆器

情報BOX 銅鐸と鳥居龍蔵一二つの博物館をつなぐ

長谷川賢二

野外博物館 勝浦町の恐竜化石発掘現場

辻野 泰之

レファレンスQ&A シロマダラというへびについて教えてください

井藤 大樹

## 愛媛県

◆伊予史談 伊予史談会

〒790-0007松山市堀之内 愛媛県立図書館内 1915年創刊

◇408 2023.1 A5 51p 750円

小特集 伊予の札所研究

岩屋寺絵図に関する基本的考察 井上 淳  
太山寺の天保六年開帳と四国遍路 岡本 佑弥  
歴史余話 「陸軍三太郎」について 田所軍兵衛  
美術館へ行く

高野山と伊予国―「国宝 高野山金剛峯寺展」を観覧して 大本 敬久  
新刊紹介 西条市教育委員会編 『「四国山地の発酵茶の製造技術」石  
鎚黒茶製造技術調査報告書』、愛媛大学四国遍路・世界の巡礼研究  
センター 『四国遍路と世界の巡礼 上―最新研究にふれる八十八話  
―』、愛媛県歴史文化博物館『特別展 浄土寺・浄瑠璃寺と写し霊  
場』、高虎サミット in 今治実行委員会 『海と高虎―瀬戸内が育んだ  
今治の歴史―』 編集部

郷土その日その日 自令和4年6月至令和4年10月 編集部(柚山俊夫)

◆小松史談 小松史談会

〒799-1101西条市小松町新屋敷甲3007-1 西条市立小松温芳図書館  
郷土資料室 TEL0898-72-5634

◇149 2023.1 A5 162p

新年のごあいさつ 石丸 敏信  
巻頭言 藩主墓所の清掃に想う―一つ台の墓石に寄せて 石丸 敏信  
小特集 小松藩の参勤交代  
直卿公 最後の参勤交代 石丸 敏信  
小松藩の参勤交代と御座船の出船港 武田 咏生  
小松藩と紀州藩の参勤交代の比較 伊津見孝明  
徳川将軍家からの「領知宛行状」 藤本 誉博  
石根の歴史シリーズ(3) 石根の地名・寺・神社のいわれ

原文作者・高橋孝一／補筆紹介・織田義彦

小松町及び周辺古墳3 三嶋神社と船山古墳群 越智 敏雄  
民俗文化財としての石鎚黒茶 大本 敬久  
百五十年の伝統にあるもの～小松小学校創立百五十周年に寄せて 伊藤 敏昭  
旧石鎚村折懸風穴の再発見 山本 貴仁  
東海山長福寺の院達作 南明東湖寿像の調査をおこなって 神野 裕太  
綱付山航空灯台について 山本 達也  
研ちゃんのおもしろ昔話シリーズ(2) 新宮の大石さん 曾我部研二  
史料紹介・黒川通軌中将の書簡 田所軍兵衛

玉井公一さんを偲ぶ  
コラム

石丸 敏信

小松の歴史 四コマ漫画(6)  
小松小学校校門前 篤山先生母像の修復を史談会が担う  
石丸会長・西条市文化協会賞を受賞  
南海放送ラジオで「小松藩の歴史」

處 友香  
(石丸)  
史談会事務局  
事務局(友澤)

## 佐 賀 県

### ◆末盧国 松浦史談会

〒847-0823唐津市旭が丘6-5 TEL0955-73-3549 年2000円 1962年創刊

◇232 2022.12 B5 20p

「唐津の近世文書教室」 史料紹介『岸田文書』一四三  
寺沢忠晴没後四〇〇年

濱口 尚美

寺沢 光世

千々賀甘木谷にある二基の石碑

山田 洋

唐津・発掘・発見の話(20) 佐藤の北波多の古墳の発掘について  
考古学における地方史研究の成果 五、時代の証(5) 火山噴出物(7)

徳富 則久

田島 龍太

令和四年度 松浦党研究連合会 伊万里現地研修会報告

令和四年度 秋の市内探訪会開催報告

企画・写真 江崎勝矢

## 宮 崎 県

### ◆石の証言 「八紘一字」の塔を考える会

〒880-0026宮崎市波島2-30-2 佐藤文則方 年2000円 1995年創刊

◇110 2023.1 A4 12p

表紙 「八紘一字」の塔

新年を迎えて

税田啓一郎

考える会の活動報告 COOP 宮崎労働組合の平和学習会で塔案内/  
「宮崎県民教連 秋のつどい」の第2日目企画として問う案内/第  
31回ウォッチング「八紘一字」の塔/医療生協西部支部の皆さんを  
塔案内/木城町社会教育「中央婦人学級」塔案内/考える会の発行  
物等の販売普及にご協力お願いします!!

沖縄戦と「八紘一字」の塔

野崎 眞公

二つの石碑を忘れまい 市ヶ谷 亀岡八幡宮境内「八紘一字」石碑/  
宜野湾市 嘉敷高地「青丘之塔」

原 秀樹

本の紹介 「神話を再び神話へ」 窪莊一郎著『明治維新と神代三陵

廃仏毀釈・薩摩藩・国家神道』  
芸術による平和と戦争の表現

追立 敏弘  
税田啓一郎

## 鹿 児 島 県

### ◆鹿児島民俗 鹿児島民俗学会

〒896-0017いちき串木野市高見町133 所崎平方 TEL0996-32-8705 年4000円  
1950年創刊

◇162 2022.12 B5 94p

表紙 志布志と串間の間の笠祇山頂の笠祇神社の馬の絵

写真 さつま町にて芸能を調査中の下野敏見先生 2011年11月4日

撮影：近藤津代志氏

特集 下野敏見先生をしのぶ

下野先生の思い出

有馬 英子

下野先生の思い出から

有馬 澄子

下野敏見先生追悼文

近藤津代志

下野敏見先生への感謝

中村 史伝

下野敏見先生を偲んで

永山 修一

膨大な写真資料は驚異

名越 護

下野先生の思い出

橋口 満

初めて参加した大崎町民具・民俗調査の思い出

渡山 恵子

下野民俗学から見る鹿児島文化の豊穡

池永 聖子

表紙写真解説 志布志の笠祇神社と絵馬

松原 武実

シイラ(鱧)の様々

中村 史伝

余談 尖閣諸島のアホウドリ(1)

名越 護

正月行事と盆行事―錦江町の例(1)

牧島 知子

奄美の「あかつち文化」(2) 演劇の寵児・伊集田実

名越 護

表紙絵関連記事 笠祇神社の絵馬の版木など

松原 武実

鳥の民俗語彙(後編(1))

橋口 満

余談 尖閣諸島のアホウドリ(2)

名越 護

幻の領土中ノ鳥島

名越 護

集団水死の怪―戦争犠牲者の亡霊説―も

名越 護

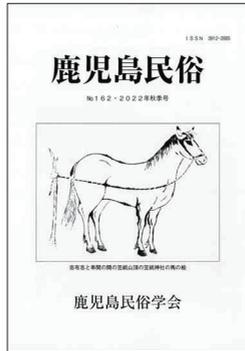
資料 除証文 川辺町 自安永五年至天明六年

編・前床重治

国頭村と与論町で実施した2022年「4・28」

―当日の海上集会の様子が全国各紙がどう伝えたのか

近藤 功行



\*2022年3月10日に93歳で亡くなられた、下野敏見氏を偲ぶ特集号である。

同氏は河辺郡知覧町(現南九州市)の出身で、鹿児島大学卒業後、県内の高校教諭を経て、鹿児島大学教員に転じた。高校教諭時代から屋久島をはじめ、南九州一帯、沖縄にまで出かけ、高齢者に聞き取りをして民俗採集を続けた。1962年に『種子島民俗』『種子島漁業習俗』の業績により第一回柳田國男賞を受賞している。

鹿児島民俗学会で指導的立場にあったほか、1979年には鹿児島民具学会を創立し、会長に就任している。フィールドワークを信条とし、その手法から「下野民俗学」と称された。

著書は膨大な数に上るが、集大成というべき、2009年に開始された全25巻予定の「南日本の民俗文化」シリーズ(南方新社)は、死去により、既刊の『南日本の民俗文化誌』全12巻、『南日本の民俗文化写真集』2巻の計14巻で打ち切りとなった。残念なことである。

## 沖 縄 県

### ◆宮古郷土史研究会会報

〒906-0013平良市下里1223-8 下地和宏気付 TEL0980-72-9963  
年3000円 1977年創刊 <https://kyodoshiken.ti-da.net>

◇254 2023.1 B5 8p

一月定例会レジメ	第40回企画展「新収蔵品展」	湯屋 秀捷
二月定例会レジメ	「宮古・八重山の英雄と遺跡」	久貝 弥嗣
十一月定例会のまとめ	「宮古島市最大の集落遺跡住屋遺跡」	久貝 弥嗣
令和三年度	友利元島遺跡発掘調査報告—十二月定例会を終えて	久貝 春陽
シンポジウム	「宮古島と琉球帝国」を終えて	久貝 弥嗣
第十三回苧麻糸展示会	『島で受け継がれる苧麻糸の手法』、宮古上布	

保持団体むら巡りツアー『コレクション展』	久貝 弥嗣
宮古芸能フェスティバル	新田 由佳
宮古馬展示会のお知らせ	久貝 春陽
投稿企画「私のイチ押し文化財」	
「松原の獅子舞」	與那覇史香
「宮古馬」	久貝 春陽
原稿募集！	
宮古関係「琉球王国朱印状」国の重要文化財指定に答申される	下地 和宏

### 寄贈図書紹介

#### ◆ヴァンテージライターの世界 炎と魅せるメタルワーク

たばこと塩の博物館編・刊（〒130-0003 東京都墨田区横川1-16-3 TEL03-3622-8801）2022年9月 A4 16頁

たばこと塩の博物館特別展のリーフレット。さまざまな着火具やメーカーの逸品、ユニークなテーブルライターをはじめ、戦後間もない時期の国産オイルライターなど、隅田川周辺の地場産業でもあった日本のライター産業の歩みも紹介する。  
I “ワンモーションで着火”への道／II 銘品の時代／III 広がるライター：第二次世界大戦とその後／IV ライター珍品奇品

#### ◆妻有今昔物語

駒形魁著 妻有新聞社（〒249-8201 新潟県中魚沼郡津南町下船渡丁2461-2）  
2022年10月 A5 239頁

新潟県十日町・津南地域の『妻有新聞』に連載された「妻有今昔物語」（2017年9月～2022年4月）115話に補筆・訂正を加えて季節毎に再構成した妻有地方民俗誌。正月（12話 正月迎えて忙しい師走、スス男、正月さんが来たぞ、大正月と小正月、昼の年取り、竈神様の年取り、小正月の予祝行事、小正月の鳥追い、ホンヤラドウ、はねつけえーし、正月の終りは「骨正月」、節季市とチンコロ）／春から夏へ（29話 十二講、節分と立春、節分の豆まき、春彼岸の精霊迎え、春彼岸の雪墓、春木山と道踏み板、シミ渡り、天神講、山遊山、出稼ぎ帰り、菖蒲の節句、ヨモギショウブ、ろくろういん、松亭神社の七つ参り、稲作春のしつけ、田植えの今昔、神聖な田植え、田の草取り、入会山の草刈り、モリッコする女の子、ホタルに思う、ホトトギスとツツジ、デンデンムシのうた、夏越の茅の輪くぐり、カッパのはなし、オカネサマ、モミジ祭り、朴の葉の風車、外遊びしない子どもたち）／盆（7話 盆のいわれ、お盆行事、七日盆の沐浴、盆踊り、新保広大寺節、からす踊り、秋山郷のカンノ）／秋から冬へ（35話 風神さま、秋彼岸と十五夜、芋十三夜、芋の年取り、カラス勘三郎、イネカリバナ、稲架場かけ、稲

始末、赤トンボに想う、七五三の宮詣り、草遊び、枯蠅螂、トウカンヤ、秋ゴトと流しゴト、大寒小寒、冬支度、コトの八日、大師講の跡かくし、信濃川の岨滝、信濃川の川漁、秋山郷の木鉢、秋山郷の熊狩り、『越能山都登』、芋績み、『北越雪譜』と雪形文様、雪道踏み、雪樋、雪中の搬送隊、雪やコンコ、雪ん子の遊び、雪ん玉遊び、ジロ端と暮らし、ジロ端の座席、温かいジロ端で、ジロ端を囲んで／住まいと暮らし（32話 中門造り、建築儀礼、石場かち、牛腸という儀礼、棟梁送り、茅葺き屋根とヤネヤ、赤倉の番割制、イッチョマエ、アンギン、山ぎもん、嫁入り道中、祝言とスキ鬼、ケシネ箱と主婦権、箱膳、チグラと育児、タッチョ祝い、子守歌の種類、子守は楽のよで辛い、ババサの子守歌、トント昔、トント昔の語り部、セツ釜と片目の魚、牛池、人柱伝説、鉢の石仏、白羽毛の観音さま、妻有郷の道祖神、苗場山の池塘、「五戸の里」の歌碑、越後ゴゼ、一枚の写真から、頑張れ演劇サークル）／あとがき

#### ◆上吉田成立450周年・吉田胎内開基130周年記念企画展

##### 富士山登山口上吉田と吉田胎内の歴史

ふじさんミュージアム(富士吉田市立歴史民俗博物館)編 (〒403-0032 山梨県富士吉田市上吉田東7-27-1 TEL0555-24-2411) 富士吉田市教育委員会刊 2020年10月 A4 34頁

ふじさんミュージアムの企画展展示解説書。富士山と登山口として関東地方を中心に大勢の富士登山者を迎え入れてきた上吉田と吉田胎内の歴史を、数多くの貴重な資料を通して紹介する。はじめに／上吉田の位置／上吉田の変遷／上吉田の始まりの地「小佐野」／御師町の原点「古吉田」／吉田と上吉田と下吉田／古吉田の寺院／古吉田と遊珍／古吉田と城山・小倉山／古吉田と北口本宮富士浅間神社／古吉田と月江寺／古吉田と西念寺／古吉田と富士道／御師町「上吉田」の1572年の町づくり／御師町「上吉田」の町割と変遷／御師町「上吉田」の屋敷地と水路／上吉田の水源「泉水」と「蝙蝠穴」／上吉田の用水路／絵図にみる上吉田／吉田胎内の歴史

#### ◆遠山霜月祭の研究

櫻井弘人著 岩田書院 (〒057-0062 東京都世田谷区南烏山4-25-6-103 TEL03-3326-3757) 2022年10月 A5 746頁 17800円＋税

序章 遠山霜月祭を深く耕すー遠山からのまなざし／第一章 遠山と霜月祭／第二章 遠山霜月祭の実態／第三章 遠山霜月祭の湯立／第四章 遠山霜月祭の舞／第五章 遠山霜月祭の立願／第六章 面からみた遠山霜月祭／第七章 遠山霜月祭の変化と変容／第八章 百姓一揆伝承と遠山霜月祭／第九章 鎌倉と遠山霜月祭／終章 結語と課題／付 遠山霜月祭の式次第、遠山霜月祭の面一覧、遠山霜月祭開催する主な神社平面図、遠山地方の歴史ー遠山霜月祭および飢饉・天災(周辺地域を含む)を中心に／追い書き



#### ◆後記

長野県南信濃村(現飯田市)の生まれで、元飯田市美術博物館学芸員の櫻井弘人さんが、半世紀に及ぶ郷里霜月祭の研究成果を『遠山霜月祭の研究』(岩田書院 2022、本号64p 参照)として出版した。A5判746頁に及ぶ、文字どおり畢生の大著ということができよう。この業績により、國學院大學から博士号の学位と祭祀・芸能に関する優れた研究を対象とする「西角井博士記念賞」が授与された。同賞は、折口信夫の五博士の一人と呼ばれた民俗学者・国文学者・歌人の西角井正慶を記念して、1971年に設立されもので、34年ぶり5人目の受賞者となった。

その櫻井さんから、2023年1月に鎌倉で開催された第33回常民大学合同研究会で、「飢饉・疫病流行と遠山霜月祭—『遠山霜月祭の研究』から」と題する研究報告を聴く機会に恵まれた。同書の核心ともいえるべき、遠山地域10神社の霜月祭で使われる面の種類と変遷を詳細に調査し分析したもので、それが、飢饉や疫病、戦争といった社会不安と密接に関わっていることがよく理解できた。櫻井さんは、祖父が和田諏訪神社の氏子総代を長年務めていたことから、小学5年生の夏休みの研究に、祖父から本を借りて、祭の様子を模造紙に書き写したことがあるという。地域の人たちにとって、祭は暮らしそのものである。地元で生まれ育ち、祭りを担ってきた生活感のある方から、研究成果が生み出されたことを喜びたい。

(飯澤)

地方史情報 160 2023年(令和5年)3月1日 発行

編集・制作 : 白鳥舎 hakucho@eris.ais.ne.jp

ウェブサイト公開: 岩田書院 <http://www.iwata-shoin.co.jp>

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4-25-6-103 TEL03-3326-3757

\*本誌は、140号より、PDF版のみの発行です。